

令和4年度

学校評価アンケート

結果報告

杉並区立天沼小学校運営協議会

会長 高橋 武郎

杉並区立天沼小学校

校長 松野 泰一

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

また、このたびの学校評価アンケートには、保護者の皆様、児童、教職員、地域の皆様等、天沼小学校に関わる多くの方にご回答いただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

ご協力いただいたアンケート結果の集計が終了しましたので、皆様にご報告申し上げます。今年度は、皆様に評価していただきたい事項をわかりやすくし、ご意見をより正確に把握できるようにするため設問を改めました。今年度の保護者アンケートの回収率は68.3%となり、昨年よりも多くの方にお答えいただきました。自由意見記述欄を含め、天沼小学校の教育活動に対して、ご理解をいただけている内容となっています。

以下、設問ごとの評価、自由記述欄のご意見に基づき、学校運営協議会で考察をし、次年度の教育活動に生かしていけるよう協議を行った内容です。情報不足と考えられる事柄については解説も加えておりますので、あわせてご覧ください。

### 学校評価アンケート実施を通してめざすもの

この学校評価は、天沼小学校の目指す学校の教育目標や、育てたい子ども像の実現のため、今年度1年間に実践してきた主たる教育活動について、様々な立場の皆様から評価をいただき、学校運営協議会にて、その成果や課題に考察を加えて、次年度の教育計画や教育活動の改善に役立てる取組です。

- (1) 児童・保護者・地域の方と連携を深めながら、一人ひとりの子どものよりよい育ちを促すために、天沼小学校の教育への理解を深めていただく。
- (2) 天沼小学校の教育活動をより推進するための評価を責任をもって行い、学校教育活動への参画意識を高めていただく。
- (3) 「安全・安心な教育環境の実現」という視点から、施設・組織としての学校運営のあり方について連携と認識を深めていただく。

### 全体の傾向からみた考察

#### ❖ 全体的に高い評価を示すアンケートの結果

アンケート全21項目（設問数44）の評価回答の結果を概観すると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「肯定回答率」は、多くの設問で8割以上となり、全体的に高い評価をいただくことができました。加えて、今回のアンケート結果では、過去2年と比べて、「判断がつかない」との回答が大きく減りました。これは、学校が最善の努力を行った結果、今年度は授業や学校を見ていただく機会を増やすことができ、保護者の皆さまに学校や児童の様子を実感していただいたことが大きな要因と考えています。

年度初めに「『天沼小学校がめざす教育』のご紹介」をお配りするとともに、ホームページの「学校運営協議会【CS】」サイトでもご紹介をしました。コロナ禍にあって、例年に比べると直接皆様にお話しする機会が少なくなりましたが、日頃からの皆様のご理解、ご協力があったからこそ、評価であったと考えています。

## 設問ごとのご報告



ご報告の記載方法は、一番上に設問を、次にアンケート結果のグラフ、そして学校運営協議会・学校評価委員会にて協議検討した考察を示してあります。

「次年度に向けて」については、学校運営協議会がこの評価結果を受け、今後の学校運営に対する意見を述べ、来年度の教育内容への反映を目指して協議した内容です。

また、家庭・地域の皆様とともに進めていきたい教育内容についても記載しています。学校・家庭・地域がともに連携して、天沼小学校の子どもたちの成長を支援していきましょう。



## 学校運営協議会の1年間の活動を振り返って

天沼小学校学校運営協議会 会長 高橋 武郎

今年度も、コロナ禍の影響を受けた1年間となりました。けれども、松野校長先生をはじめ本校の教職員の方々は、子どもたちのことを第一に考え、様々な行事や特色ある教育活動をできる限り中止にせず、工夫しながら実施してくださいました。そのように努力して下さったことに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、私たち学校運営協議会は、松野校長先生を中心とした本校の教職員の方々による教育がより円滑に、そしてより充実した質の高いものとなるよう、学校支援本部の方々と連携しながら、様々な支援をしてまいりました。

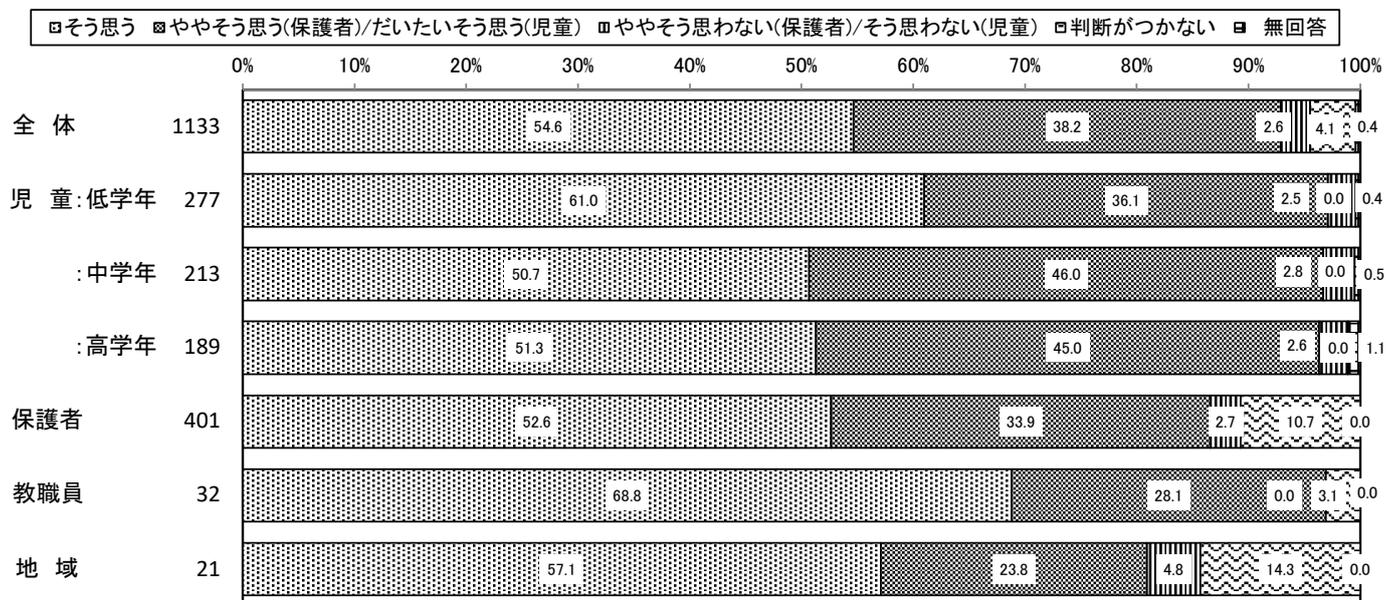
例えば、月1回(年間11回)の定例会では、学校・保護者・地域が一体となって、より充実した教育が展開できるようにするための具体的な取組などについて協議を進めてまいりました。また、広報分科会、研修交流分科会、学校評価分科会の3つの分科会を設け、この学校運営協議会の活動などに関する情報提供や、皆様に本校の教育に対する理解を深めていただくための研修活動などにも取り組んでまいりました。さらに、今回実施いたしましたこの学校評価アンケートも、皆様からいただきました評価結果を今後の本校の学校運営や教育活動の充実に反映させるための取組の一つです。

そして、これからも本校の子どもたちのために、私たち学校運営協議会としての支援に努めてまいりますので、保護者・地域の皆様方にはさらなるご理解とご協力をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。1年間、ありがとうございました。

# 1 基礎学力の定着（「学んでわかるおもしろさ」をめざして）

## ① 「あまぬま学びの約束」の実践

設問1	1・2年生 あまぬま学びのやくそくがわかり、守っています。
	3・4年生 「天沼のきまり」「あまぬま学びの約束」など、学校生活のルールを守って生活しています。
	5・6年生 「天沼のきまり」「あまぬま学びの約束」などのルールを守り学校生活を送っています。
	保護者・教職員・地域 「あまぬま学びの約束」に基づいた授業運営が行われている。

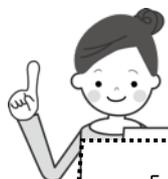


\*以下、保護者、教職員、地域の関係者を合わせて「保護者等」として示しております。

【肯定回答率 児童 96.8% 保護者等 87.0%】（昨年度：児童 97.9% 保護者等 87.9%）

次年度に  
向けて

学校生活の基本ルールである「あまぬま学びの約束」については、低学年のうちから継続的に取り組んでいきたいテーマとして今後も続けていきます。あいさつや帰宅時間、遊ぶ時間など生活における規範についてはぜひ家庭でも取り組んでいただき、学校と家庭が連携して基本的な生活規範を育てていけるよう、ご協力をお願いいたします。



ちょっとおさらい！

「あまぬま学びの約束」って？ その1

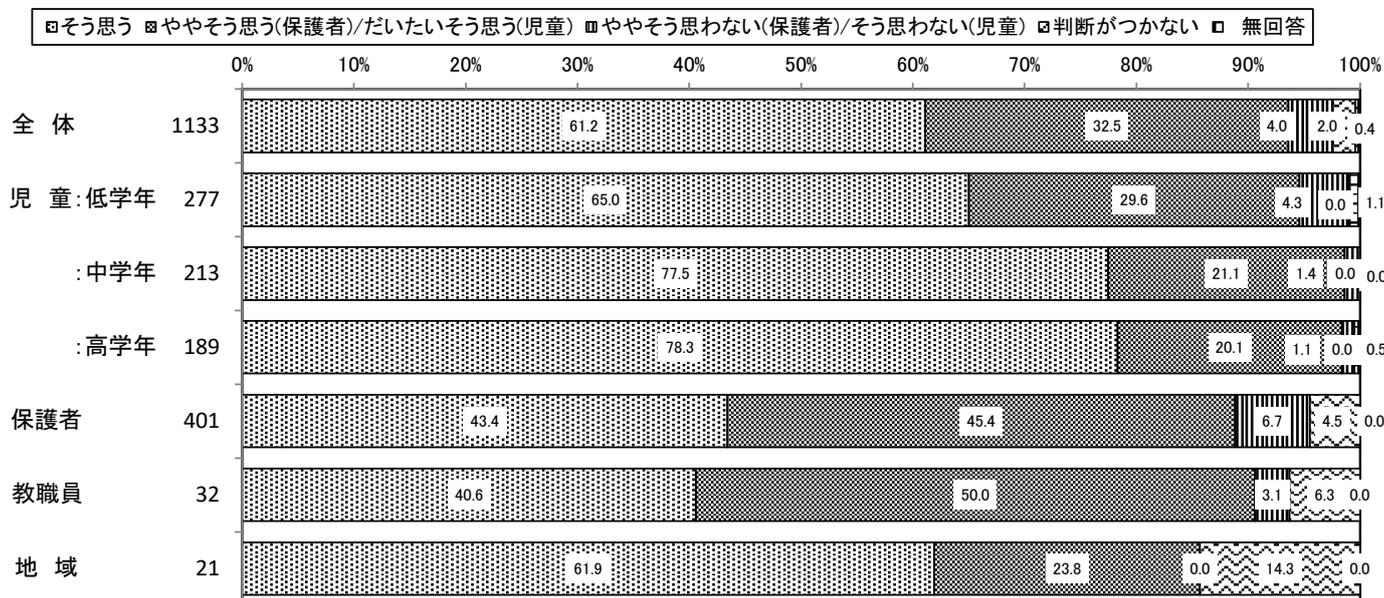
「あまぬま学びの約束」は、天沼小における生活の基本ルールです。  
この約束を守りながら充実した教育を進めていきます。ご家庭でもお声がけをよろしくお願いいたします。

- 授業前の約束**
- ① 休み時間のうちにトイレに行くなど用事をすませておきましょう
  - ② 次の学習に必要なものを机の上に出しておきましょう

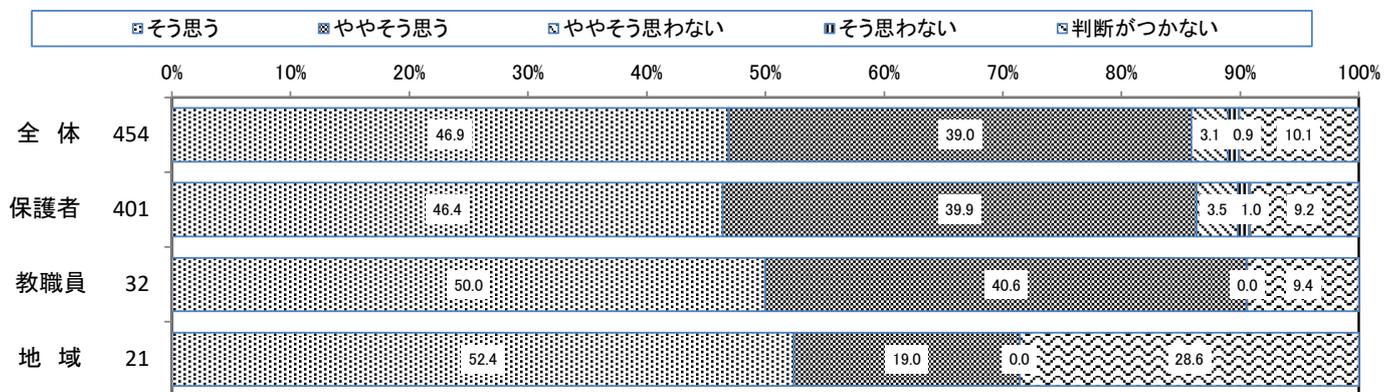
- 授業中の約束**
- ◆授業の始まりには挨拶をしましょう。いすにすわったままでよい姿勢をしましょう。
  - (例) 「よい姿勢をしてください(気をつけ)」  
「これから〇〇の学習をはじめます」  
「よろしくお願いいたします」

②すべての教育活動での言語活動の充実

設問2 1・2年生 授業の中で自分の考えを発表したり友達の話の聞いたりしています。  
 3・4年生 授業では、話し合ったり考えを書いたりする活動があります。  
 5・6年生 授業中に話し合い活動や振り返りの活動の時間があります。  
 保護者・教職員・地域 授業を通して、学びの基本となる「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」力が養われている。



設問3 保護者・教職員・地域 授業では話し合い活動を通じて自分の考えを表現したり、振り返りで具体的な言葉での表現を考える取組が行われている。



次年度に向けて

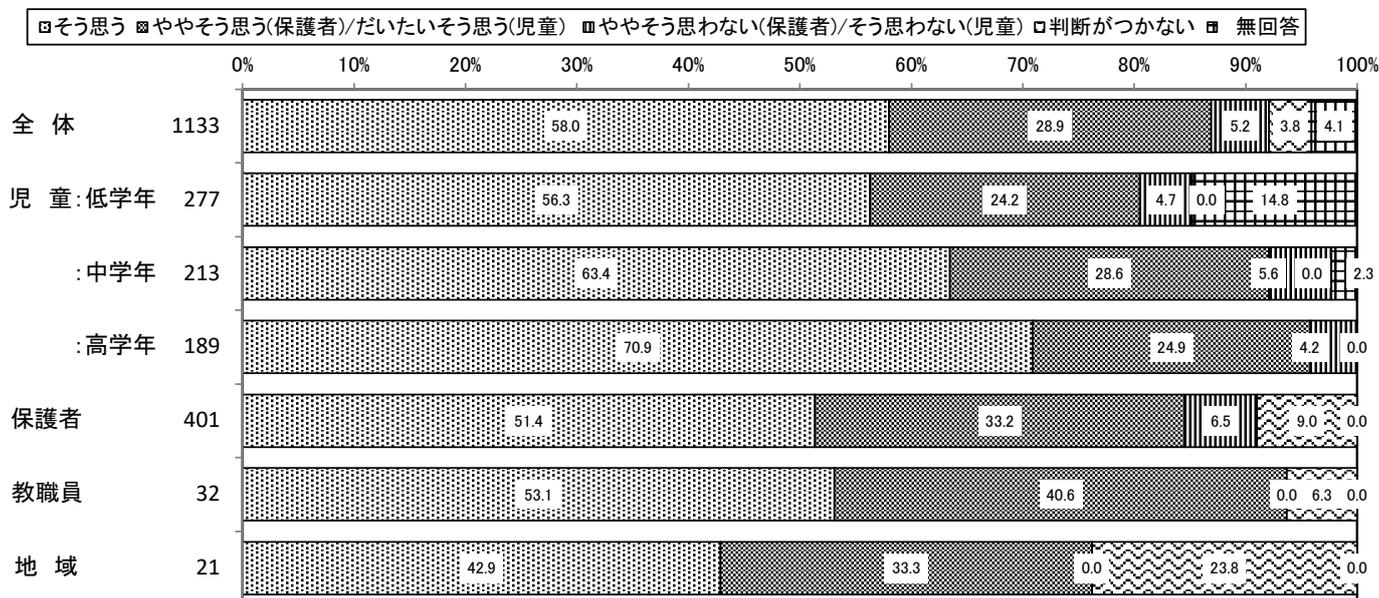
【肯定回答率 児童 96.9% 保護者等(設問2)88.8% (設問3)85.9%】

(昨年度: 児童 97.7% 保護者等(設問2)88.9% (設問3)87.1%)

アンケート結果を見ますと、学校におけるすべての教育活動において、自分で考え、自分の言葉で伝え、他者の意見をしっかりと聞く力を養う機会が、学習の中で積極的に設けられていることに対する評価になっています。これからの社会では、こうしたコミュニケーション力がとても重要になっていきます。今後も引き続き「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく育てる指導、さらに発表のときには原稿に頼らず、自分の言葉で話す力を養えるように取り組んでいきます。

### ③算数少人数指導の実施

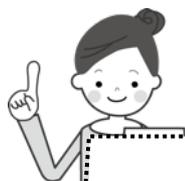
設問4 1・2年生 算数少人数の授業では、学習の進め方が自分に合っていて、わかりやすいです。  
 3・4年生 算数少人数の授業では、学習の進め方が自分に合っていて、わかりやすいです。  
 5・6年生 算数少人数授業では、自分に合った速さで学習ができ、内容の理解につながっています。  
 保護者・教職員・地域 多様な指導方法により、意欲的に取り組める学習環境が整えられている。



### 次年度に向けて

【肯定回答率 児童 88.4% 保護者等 84.8%】(昨年度:児童 94.5% 保護者等 89.4%)

児童の肯定回答率を見ますと、算数少人数指導に関しては、日々の取組が成果につながっていると感じられる結果となりました。児童数が増加傾向にありますが、今後も児童一人ひとりの学習状況に合わせた指導を継続していきます。



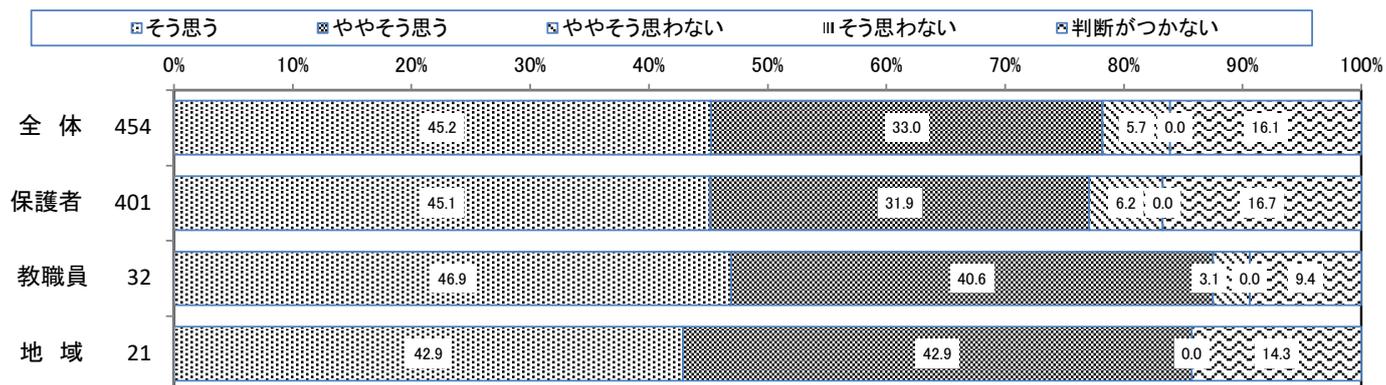
ちょっとおさらい!  
 「算数少人数指導」って? どういう意味があるの?

天沼小の算数の学習では、1、2年生は2つの学級プラス1として3展開、3、4年生は4つの学級プラス1として5展開、5、6年生は3つの学級プラス1として4展開で授業を行い、学習の目的や内容に合わせ、個々に合ったきめ細やかな指導方法を取り入れています。それにより、児童一人ひとりが意欲的に取り組める学習環境がつけられています。

また、習熟度別指導の方法として、1年生は年度初めは少人数、学習が進んでからは習熟度別と分け方を変え、2年生以上は「どんどん・すくすく・じっくり」などのコースに分けて、基礎・基本部分の学習を確実に行っていき、また、理解の早い児童はさらに発展問題などに取り組むなどしています。

④教員の専門性を生かした指導の実施

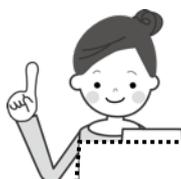
設問5 保護者・教職員・地域 専科制や教科担当制など、教員の専門性を生かした指導が行われている。



次年度に向けて

【肯定回答率 保護者等 78.2%】(昨年度：保護者等 86.3%)

天沼小では、4年生以上の学年で専科制を採用したり、他の学年では教員毎の専門性を生かしたりして教育を行うことを目指しています。今年度は、音楽、理科、図画工作、英語の各教科を専科の教員や講師が担当し、専門性を生かした教育を行うことができました。次年度も引き続き、さらなる指導力の向上と指導体制の構築に取り組んでいきたいと考えています。



ちょっとおさらい！  
「あまぬま学びの約束」って？ その2

授業中の声のものさし

話すときは  
聞く人の気持ちを  
考えましょう

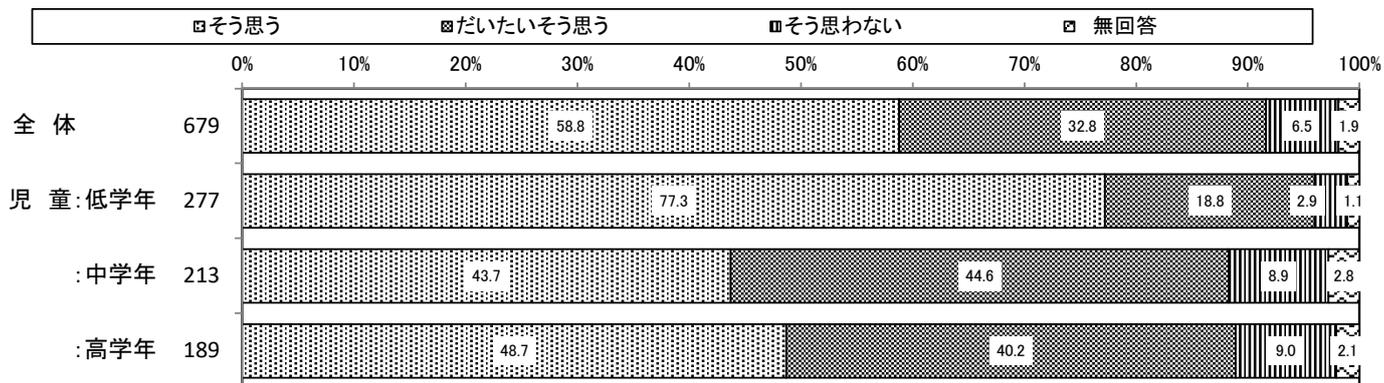


授業中の約束 (つづき)

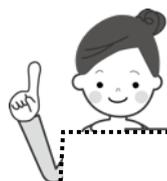
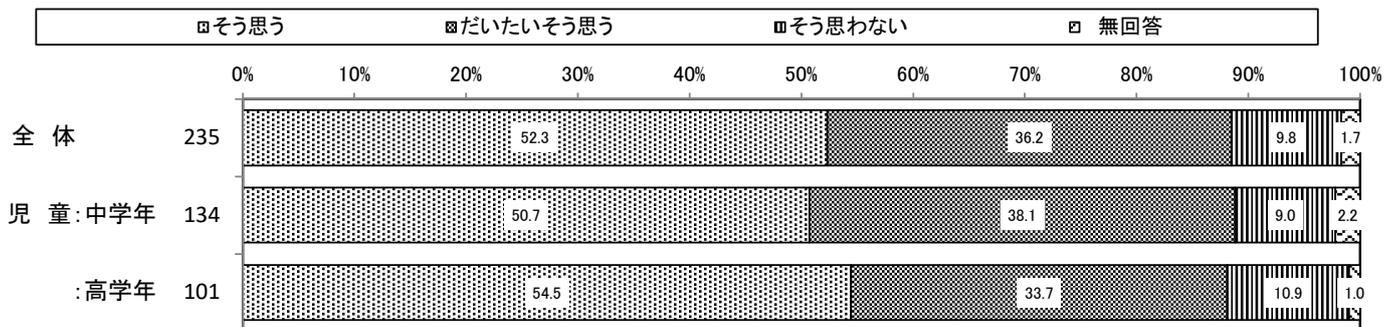
- ・発言をするときはだまって手をあげましょう
- ・名前をよばれたら「はい」と返事をして立ちましょう
- ・発言の最後は「～です」「～ます」で終わり、席につきましょう (教室掲示「声のものさし」で、声の大きさを確認しましょう)
- ・先生や友達の話聞く時は、だまって最後まで、しっかり聞きましょう
- ・正しい姿勢や、正しい鉛筆の持ち方で学習しましょう

⑤基礎学力定着のための取組(児童)

設問6 1・2年生 チャレンジタイムでの学習にがんばって取り組んでいます。  
 3・4年生 チャレンジタイムで学習することで、より力がついています。  
 5・6年生 チャレンジタイムで学習することで、より力がついています。



設問7 3・4年生 私はフォローアップタイム・ハッピーすたでいに取り組むことによって力がついています。  
 5・6年生 私はフォローアップタイム・ハッピーすたでいに取り組むことにより力がついています。



ちょっとおさらい!  
 「あまぬま学びの約束」って? その3

授業中の約束(つづき)

◆授業の終わりには挨拶をしましょう。

- ・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう  
 (例)「よい姿勢をしてください(気をつけ)」  
 「これで〇〇の学習を終わります」  
 「ありがとうございました」

◆ふでばこの中に入れておくもの

- \*けずった鉛筆5~6本 \*赤鉛筆1本 \*消しゴム1個
- \*定規 \*名前ペン

\*シャープペンシルは持ってこない。

\*勉強と関係のないものは持ってこない。

\*高学年は、必要に応じて、筆箱に入るだけの色ペンをもってきてよい。

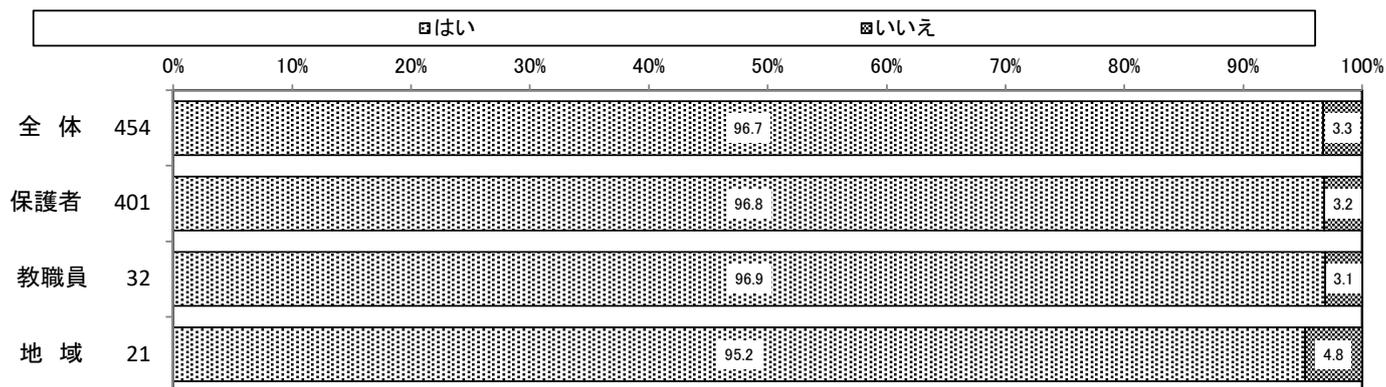
◆道具箱の中にならずに入れておくもの

- \*のり \*色鉛筆 \*はさみ \*セロハンテープ

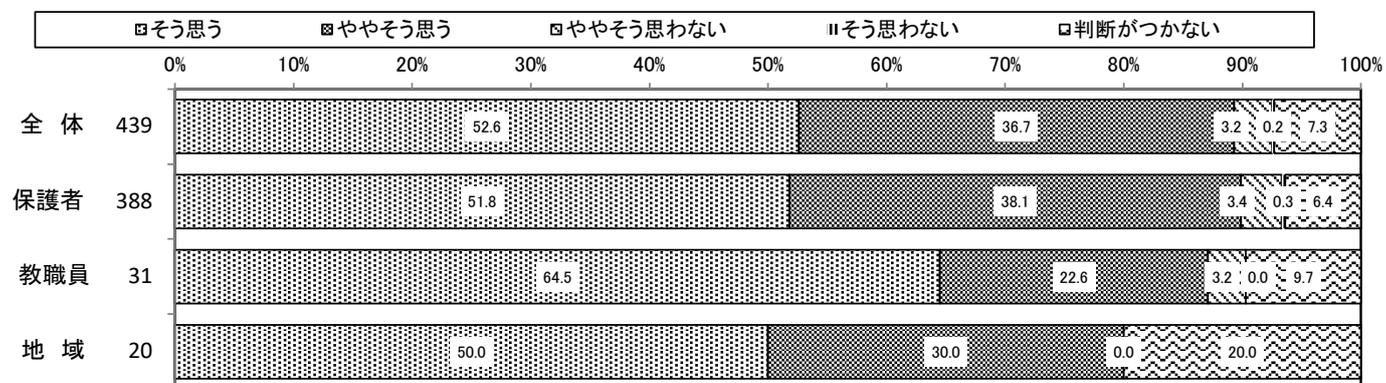


⑤基礎学力定着のための取組(保護者)

設問8 保護者・教職員・地域 授業以外にも、基礎学力定着のために様々な取組が行われていることを知っている。例えば、フォローアップタイム、ハッピーすたでい、チャレンジタイム等



設問9 保護者・教職員・地域 設問8の取組を通して、基礎・基本的な学習の定着が図られている。



次年度に向けて

設問6について【肯定回答率 児童 91.6%】(昨年度児童：肯定回答率 児童 86.4%)

設問7について【肯定回答率 児童 88.5%】(昨年度：肯定回答率 児童 88.4%)

設問9について【肯定回答率 保護者等 89.3%】(昨年度：肯定回答率 保護者等 91.6%)

「チャレンジタイム」を用いた学習時間については、特に低学年を中心として成果につながっていると感じられる結果です。今年度も密を避けるため、学年によってチャレンジタイムを中休みの前後に分散させる工夫をしました。

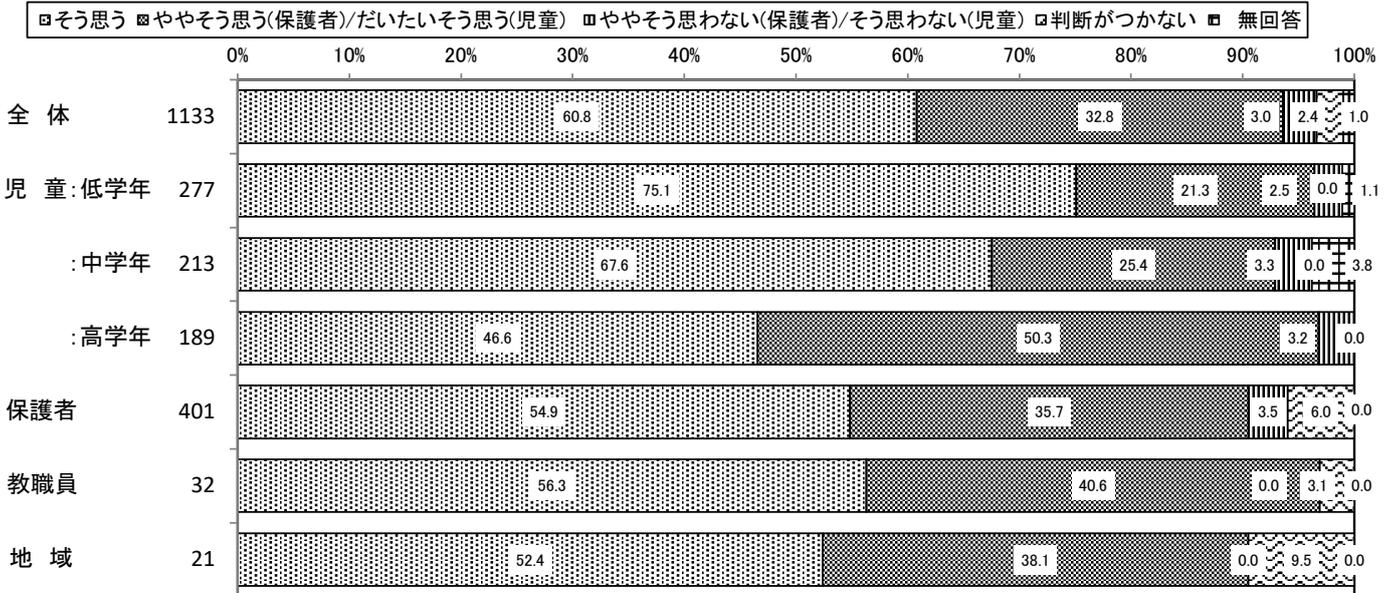
「フォローアップタイム」等の取組学習についても、多様な学習機会の一つとして、今後も有効に活用していきたいと考えます。

どちらの取組も保護者の周知がされており、高い肯定回答率を得ております。このような活動は、継続して取り組むことが成果につながっていきますので、次年度以降も、学校支援本部等の地域協力者と教員との連携をしっかりと図り、より効果的な学びの場として継続していきます。

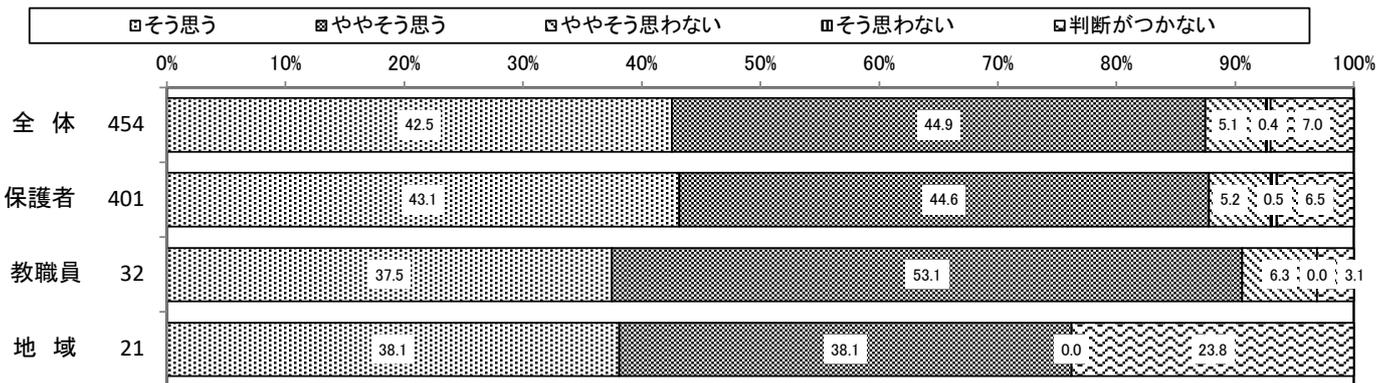
## 2 豊かな人間性の育成（「人とかかわるおもしろさ」を体感する）

### ⑥規範意識の醸成

設問 10 1・2年生 きまりを守ることの大切さを教わっています。  
 3・4年生 人と協力すること、助け合うなどの大切なことを学んでいます。  
 5・6年生 高学年としての自覚を持ち、きまりやルールを意識して行動しています。  
 保護者・教職員・地域 社会のきまり・ルールを意識する指導が低学年、中学年、高学年それぞれの学齢に応じて行われている。



設問 11 保護者・教職員・地域 設問 10 の学校教育を通して、学齢に応じた判断力が育まれている。



次年度に  
向けて

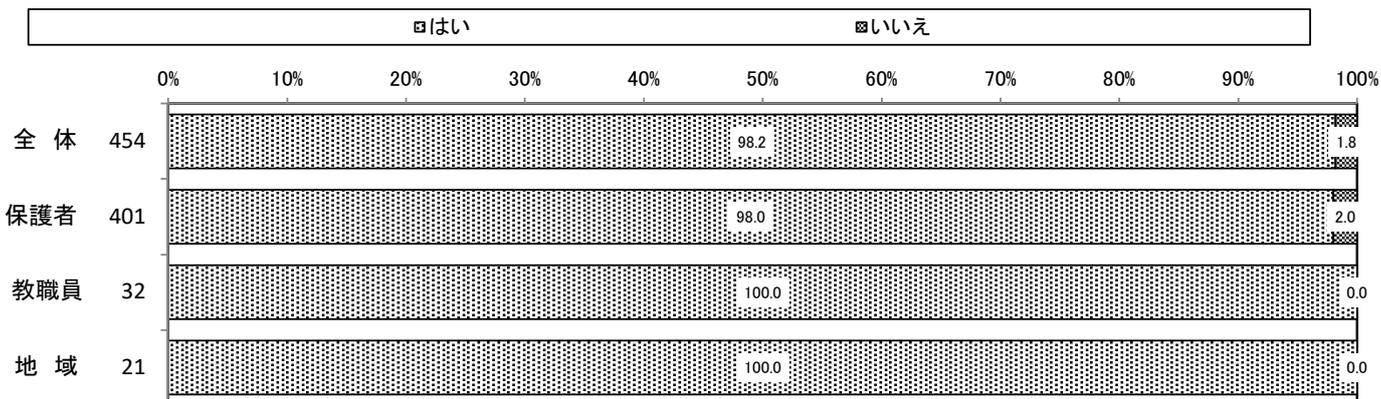
【肯定回答率 児童 95.4% 保護者等(設問 10)91.0% (設問 11)87.4%】

(昨年度:児童 96.4% 保護者等(設問 10)87.9% (設問 11)78.7%)

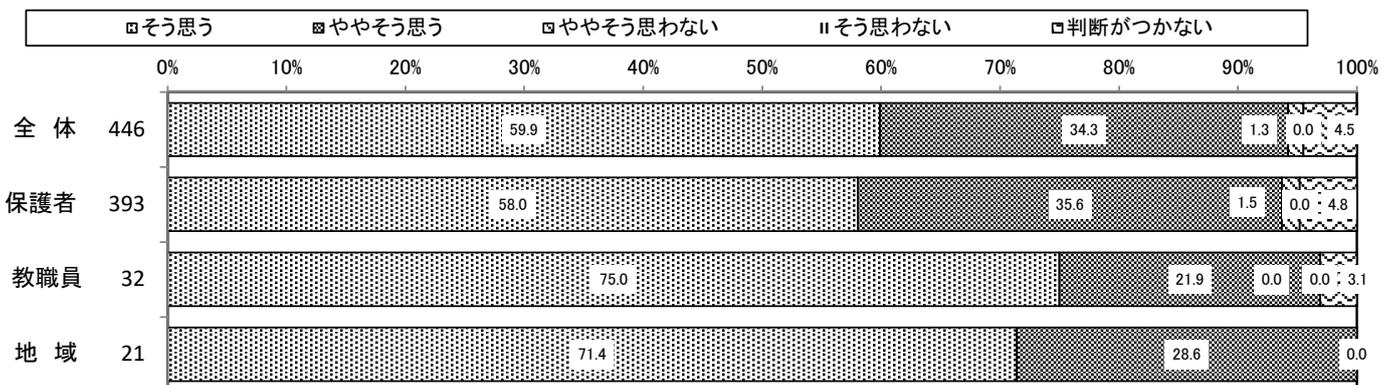
昨年度に比べて2問とも肯定回答率の向上が見られました。規範意識を育むことは、学校運営協議会としてとても大切な問題として考えています。昨年度のアンケート回答を踏まえ、今年度は学校において規範意識の向上を図り、適切な判断力を身につけられるように意識して指導を行ってきました。学校支援本部が運営する、ハッピーさたでいやハッピーくらぶなどの社会教育においても意識した声かけをしてきました。次年度も引き続き、地域と学校が協働して重点的に取り組んでいきます。

⑦地域社会の一員としての自覚を育む取組

設問 12 保護者・教職員・地域 天沼小と、町会や商店会をはじめとする地域の方々との交流活動が行われていることを知っている。例えば、「朝遊び」、「伝承遊び」、「地域安全マップ作り」、「障害者の方との交流」、「天沼会社経営プロジェクト（AKP）」、「わたしたちの天沼」、「町たんけん」、「お店番体 験」等



設問 13 保護者・教職員・地域 設問 12 の活動は、児童が天沼地域の一員としての自覚や地域への愛着心を育むのに役立っている。



次年度に向けて

【肯定回答率 保護者等 94.2%】（昨年度：93.5%）

地域の方々との交流については、地域社会を構成する一員であるという自覚を育むためにも、継続的に行っていきます。学校支援本部がコーディネートする地域と連携した活動が、天沼小の大きな特色です。次年度以降、より子どもたちにとってプラスになる取組のコーディネートを進めていきます。



ちょっとおさらい！  
「天沼小がめざす教育」について

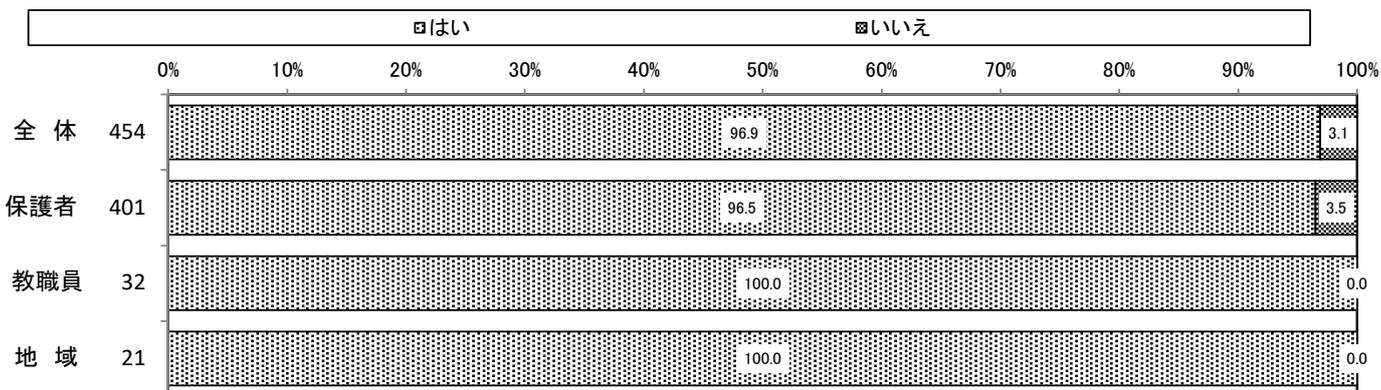
天沼小では今年度の教育方針として「～おもしろいこと、しよう。～」を掲げています。このテーマは、下記の3つの「おもしろさ」で構成されています。

- ①「わかるおもしろさ」…知識や経験を身につけることによって、いろいろなことを理解できる基礎を培う（基本基礎の充実、ICT教育の継続推進）
- ②「人とかがわかるおもしろさ」…多様な人たちと関わることで社会性を身に付け、自分以外のすべての人を尊敬する心を養う（地域との連携による教育、インクルーシブな心の教育）
- ③「生きるおもしろさ」…学校の中だけにとどまらず、子どもたちの人生そのものを支えていく「主体的・対話的で深い学び」を推進する（社会に開かれた教育課程の実現）

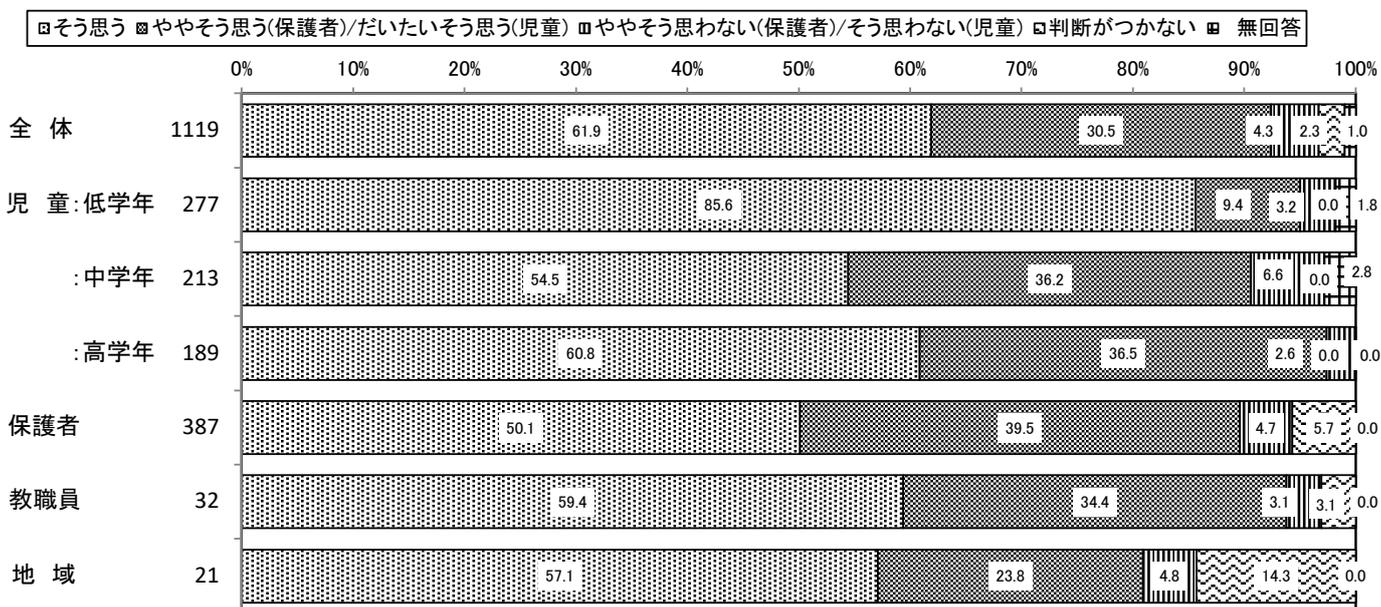
皆様もこうした「おもしろさ」を通して、子どもたちの学びを見つめ、支えてください。

⑧すべての人とかかわって生きる喜びの醸成（インクルーシブな心の育成）

**設問 14 保護者・教職員・地域** さまざまな人たちとの関わりを大切に活動を行っていることを知っている。  
 例えば、こだま学級との交流、副籍、全校たてわり班活動、2学年合同の学習、地域の方々との交流、障害のある方々との交流、卒業生との関わり等



**設問 15** **1・2年生** たてわりはんの人たちと楽しく遊んでいます。  
**3・4年生** こだま学級との交流やたてわり班活動を通し、ともに生活をする仲間として大切に思っています。  
**5・6年生** こだま学級との交流やたてわり班活動を通し、ともに生活をする仲間として尊重しています。  
**保護者・教職員・地域** 設問 14 の活動を始めとして、「お互いを理解し合い、さまざまな人たちとかかわって生きる喜び」を児童が感じられるよう、機会の提供と必要な支援が行われている。



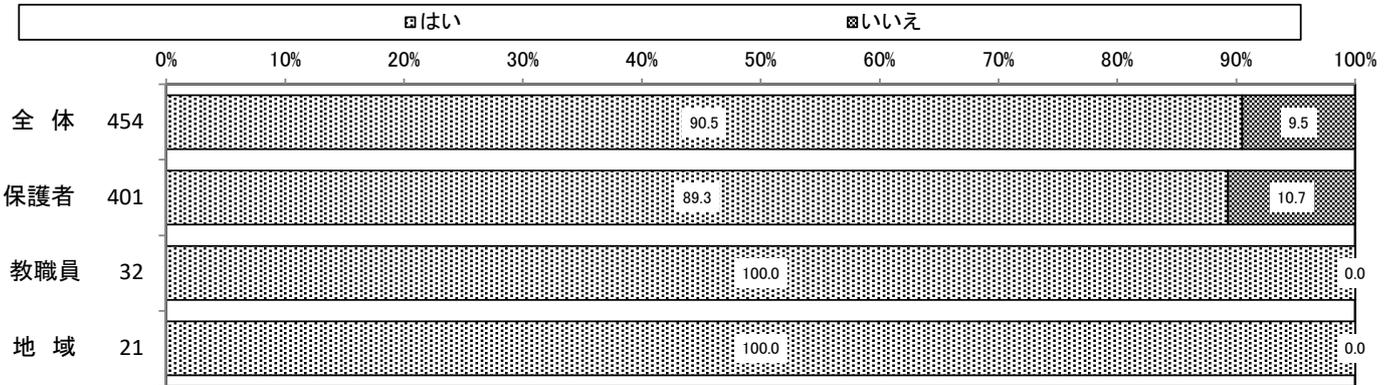
次年度に向けて

**【肯定回答率 児童 94.3% 保護者等 89.5%】**（昨年度：児童 93.7% 保護者等 92.1%）  
 天沼小には通常学級と特別支援学級の児童が共に活動する機会や、たてわり班における異なる学年同士の交流があります。また、4年生は障がいのある方との交流学習も行っています。こうした機会を通じ、日々の学校生活はもちろん、総合的な学習の時間等においても、「人とかかわるおもしろさ」に向き合っていきます。引き続き、こうした活動をより知っていただくために、学校からの情報の発信に努めて参ります。各ご家庭でもぜひ、多様性を認め、様々な立場、個性を発揮する人々とともに心地よく生きていくというテーマについて会話を深めていただきたいと思います。

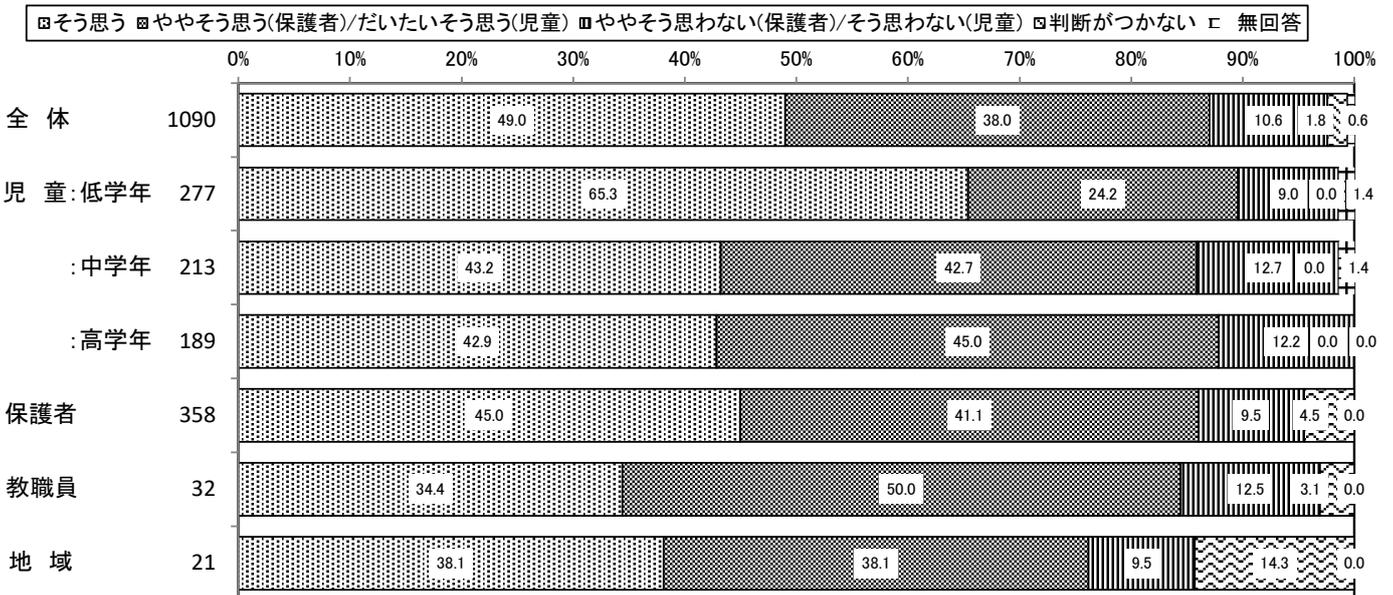
### 3 心と体の健康づくり（たくさんの「おもしろいこと」に出会うために）

#### ④体力の向上と健康の増進

**設問 16 保護者・教職員・地域** 体育の授業に加えて、体力の向上と健康の増進を図る取組が行われていることを知っている。例えば、「30分休み」、「なわ跳び週間」、「持久走週間」、「朝遊び」、放課後子ども教室「あまぬまハッピーくらぶ」、ゲストティーチャーの招へい等



**設問 17** 1・2年生 休み時間やなわとび、かけあしなど体を動かしています。  
 3・4年生 休み時間やなわ跳び週間を通して体力づくりにはげんでいます。  
 5・6年生 なわ跳び週間、持久走週間などの取り組みにより体力の向上にはげんでいます。  
**保護者・教職員・地域** 設問 16 の取組が子どもたちの心と体の健康づくりに役立っている。



**【肯定回答率 児童 87.9% 保護者等 85.4%】**

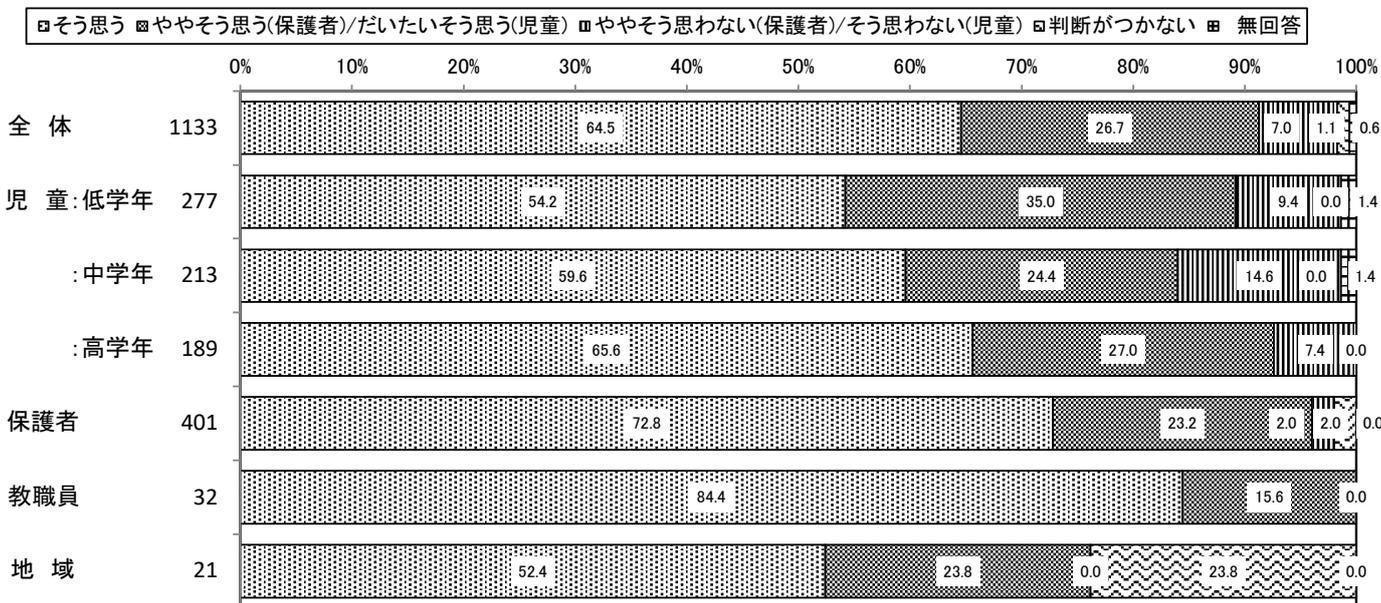
(昨年度：児童 90.2% 保護者等(設問 16)71.7% (設問 17)75.0%)

次年度に  
向けて

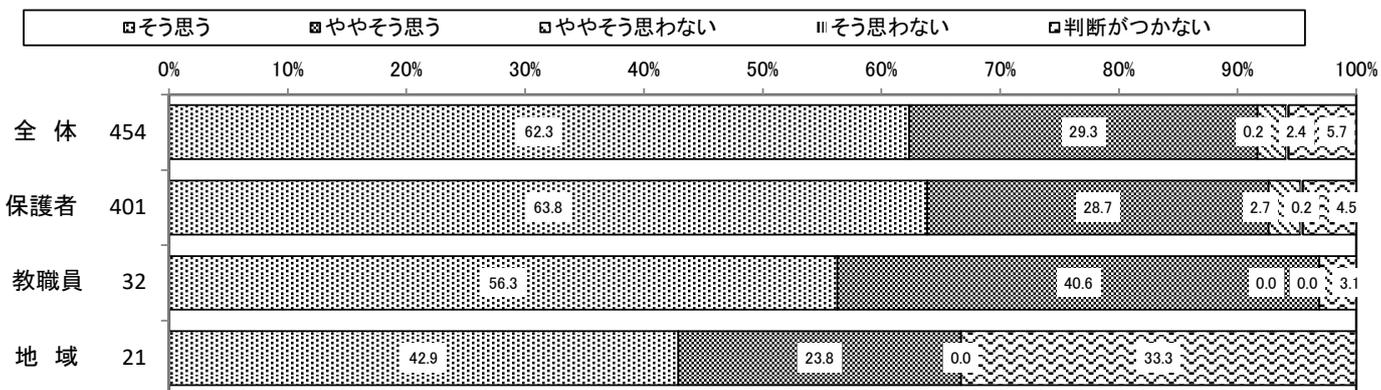
昨年の夏まで行われていた校舎増設工事が完了したことで、校庭を全面使えるようになり、外遊びの機会が増えたり、通常の体育の授業を行うことができるようになりました。また、密を避けるために一部制約されていた「朝遊び」も、1～3年生が地域の町会の皆様の見守りにより、のびのびと行うことができます。子どもたちの体力の向上は引き続き継続的な課題であるため様々な取組を行っていきます。

⑩食育の推進

設問 18 1・2年生 毎日楽しくきゅう食をすききらいなく食べられるようになっています。  
 3・4年生 毎日楽しく給食の時間を過ごし、好き嫌いなく食べられるようになっています。  
 5・6年生 毎日楽しく給食の時間を過ごし、好き嫌いのないように食べています。  
 保護者・教職員・地域 メニューや提供の仕方の工夫により、給食が多様性、栄養確保、食べる楽しさが  
 図られたものとなっている。例えば、季節や伝統行事にちなんだメニューや伝統食の提供、物語に出て  
 きたメニューを再現する図書とのコラボレーション給食、リザーブ給食の実施等



設問 19 保護者・教職員・地域 栄養士から食に関する様々な情報が提供され、給食を通じた体と心の健康づくり  
 が進められている。



【肯定回答率 児童 88.5% 保護者等(設問 18)95.4% (設問 19)91.6%】

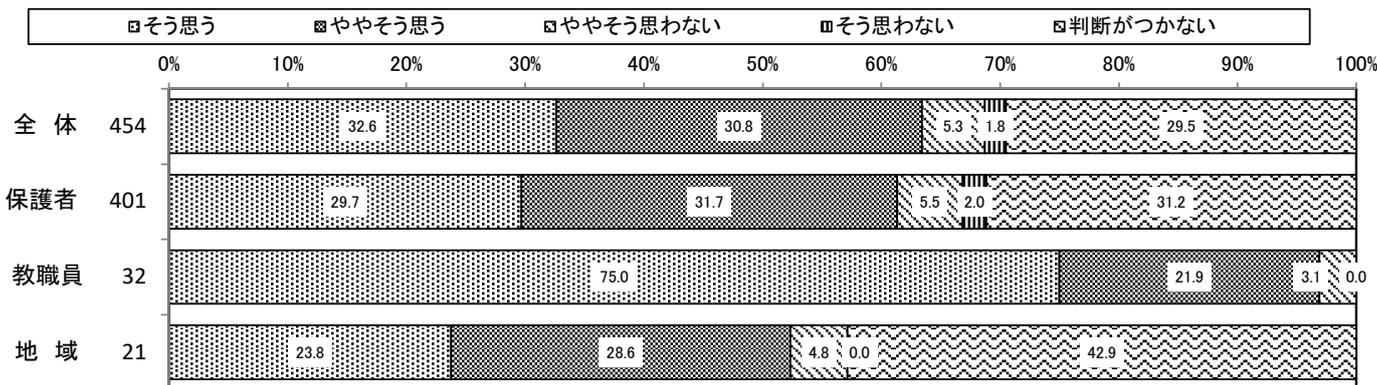
(昨年度：児童 89.0% 保護者等(設問 18)96.4% (設問 19)90.3%)

栄養士や調理員との連携により、多様なメニュー、安全で安心な給食が提供されています。毎月の「給食だより」では「食」をテーマにした話題が掲載されています。また、ホームページには「給食産地表示」というコーナーがあり、生産地や給食の写真が見られますので、ぜひご確認ください。

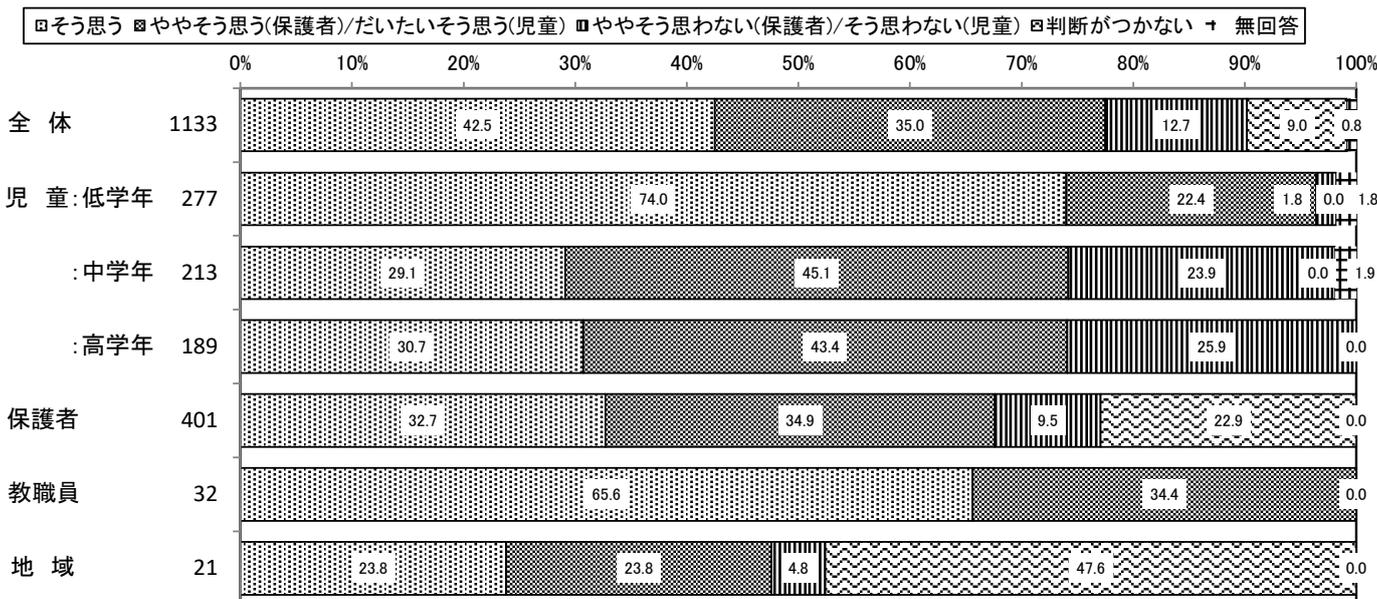
次年度に  
 向けて

①スクールカウンセラーとの連携を通じた心の教育の推進

設問 20 **保護者・教職員・地域** スクールカウンセラーと担任が連携して、人間関係に関わる問題の早期発見と予防に努めている。



設問 21  
**1・2年生** こまったときは先生にそうだんしようと思います。  
**3・4年生** 学習や生活で悩んだ時には先生やスクールカウンセラーに相談しようと思います。  
**5・6年生** 学習や生活の中で悩んだ時には先生やスクールカウンセラーに相談しようと思います。  
**保護者・教職員・地域** 気軽にスクールカウンセラーに相談できるよう、教育相談の環境が整えられている。



次年度に  
向けて

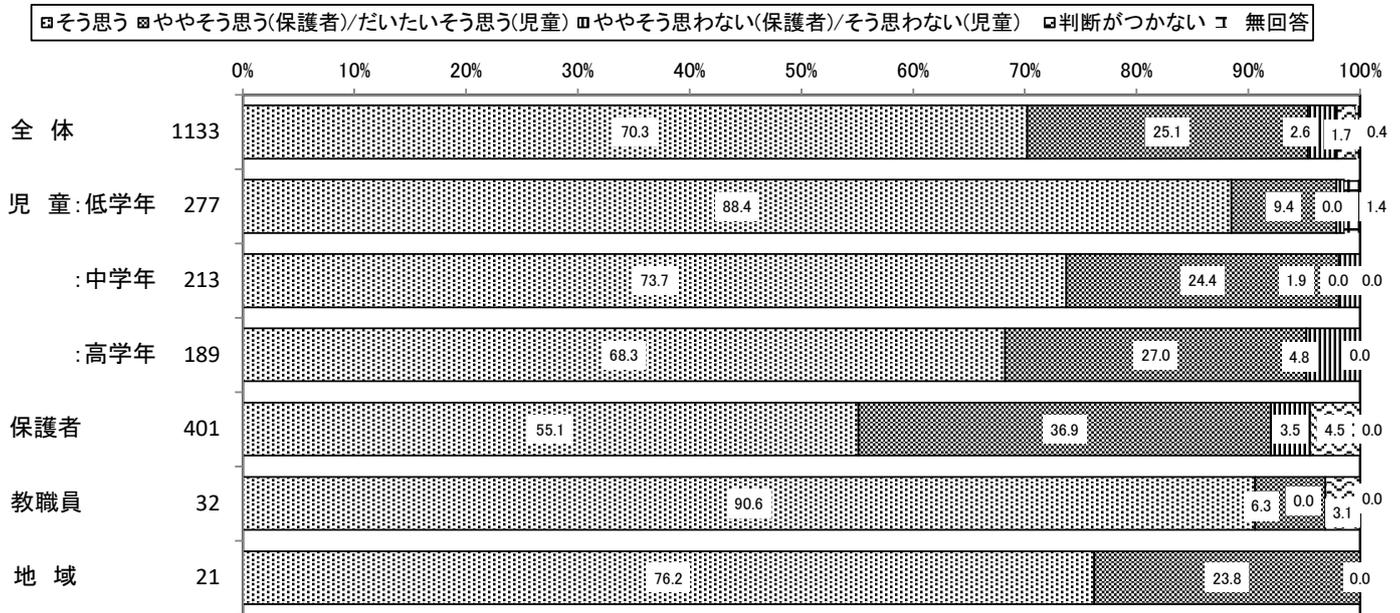
【肯定回答率 児童 83.2% 保護者等(設問 20)63.4% (設問 21)68.9%】

(昨年度:児童 82.7% 保護者等(設問 20)61.2% (設問 21)70.4%)

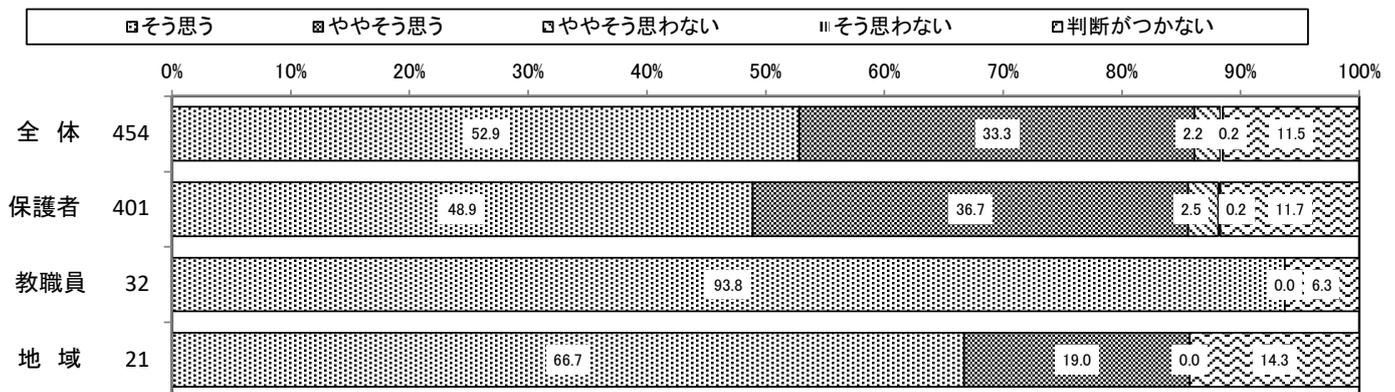
スクールカウンセラーは常に子どもの相談に優先的に応じる形をとっており、1人につき2時間の面談時間を確保して、丁寧に相談に応じています。また、5年生は必ず全員が面談を行います。今年度は毎週金曜に相談日を設定しており、保護者、児童からの相談に乗っていました。来年度の来校日は未定ですが、決まり次第来校日、面談時間を学校からのお便りでお知らせします。スクールカウンセラーからは、「相談」というと堅苦しくなりますので、「おしゃべり」をする感覚で気軽に話しかけてほしいとのことでしたので、気になることがあれば是非相談してみてください。

## 4 特色ある教育活動（「天沼小ならではの面白さ」がここにある）

- 設問 22 1・2年生 読み聞かせやお話会、図書の時間を楽しくすごしています。  
 3・4年生 お話会、読書旬間、図書の授業など楽しく読書の時間に取り組んでいます。  
 5・6年生 お話会、読書旬間、図書の授業など楽しく読書の時間に取り組んでいます。  
 保護者・教職員・地域 さまざまな取組を通して読書への関心を高めている。例えば、「お話会」「読み聞かせ」「読書旬間」など



- 設問 23 保護者・教職員・地域 教員と学校司書との連携によって授業に必要な参考資料を揃えるなど、あまぬまとしょかん(「学習・情報センター」)が有効に活用されている。



【肯定回答率 児童 97.2% 保護者等(設問 22)92.7% (設問 23)86.1%】

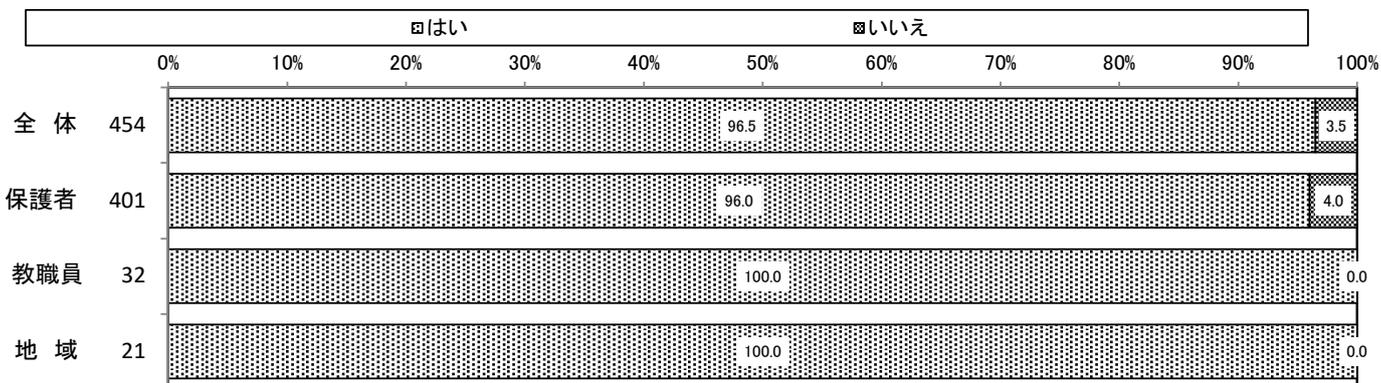
(昨年度：児童 95.8% 保護者等(設問 22)94.6% (設問 23)72.8%)

広くなったあまぬまとしょかんでは、新しい木製の素敵な書架に本が並び、季節や単元に応じた展示スペースも大きくなり、子どもたちが自然に本に手をのびしたくなる図書館ができあがりました。また、学習・情報センターとして資料に囲まれた中で、図書の授業が行えるようになり、子どもたち自身が必要な情報を探しやすい環境が整いました。電子黒板も設置されているので、ウェブ情報と図書資料の両方を活用した探求学習が可能になり、教科学習に生かされています。

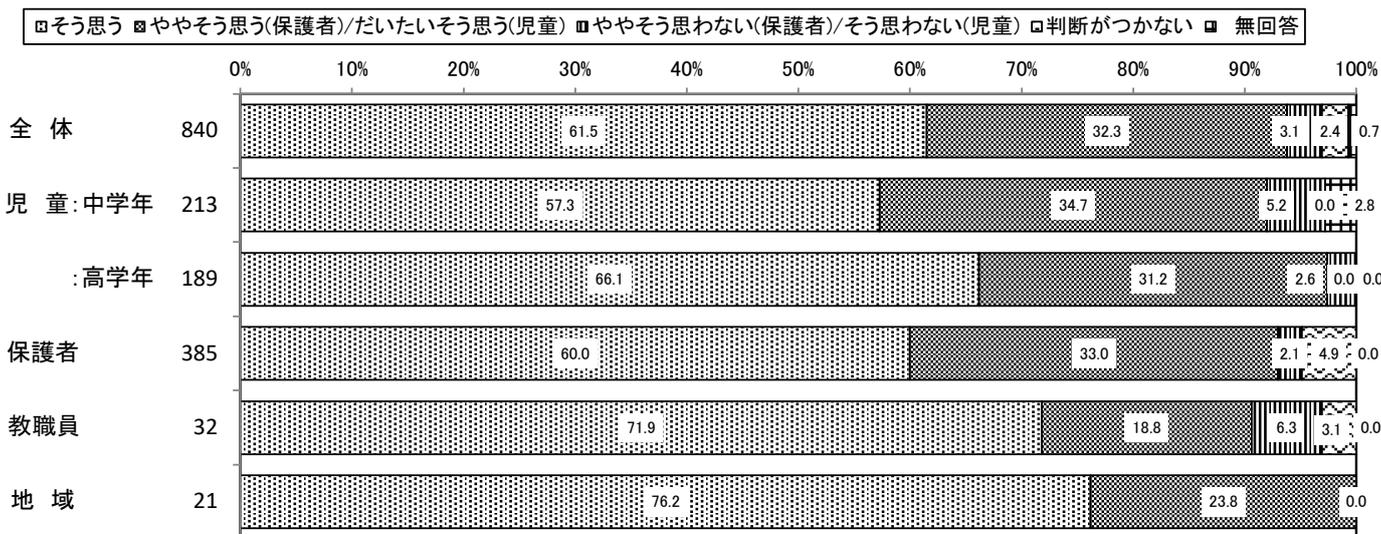
次年度に向けて

⑬学齢に応じた体系的なキャリア教育の実施

設問 24 **保護者・教職員・地域** 学齢に応じて多彩なキャリア教育を実施していることを知っている。例えば、「あまめまつり」(全学年)、「まちたんけん」(2年)、「お店番体験」(3年)、「地域安全マップ作り」(4年)、「天沼会社経営プロジェクト」(5年)、「わたしたちの天沼」・「裁判傍聴」(6年)、「手芸」・「ペットボトルキャッププロジェクト」・「弁天池公園で花を育てる活動」(こだま)等



設問 25 **3・4年生** 町たんけんや地域安全マップ作りを通して、自分が住んでいる地域のことや、人々のことがわかるようになりました。  
**5・6年生** 「AKP(天沼会社経営プロジェクト)」や「わたしたちの天沼」などの学習は、自分の将来の生き方に役立つと思います。  
**保護者・教職員・地域** 設問 24 の活動は学齢に応じたキャリア教育となっている。



**【肯定回答率 児童 94.5% 保護者等 93.2%】**

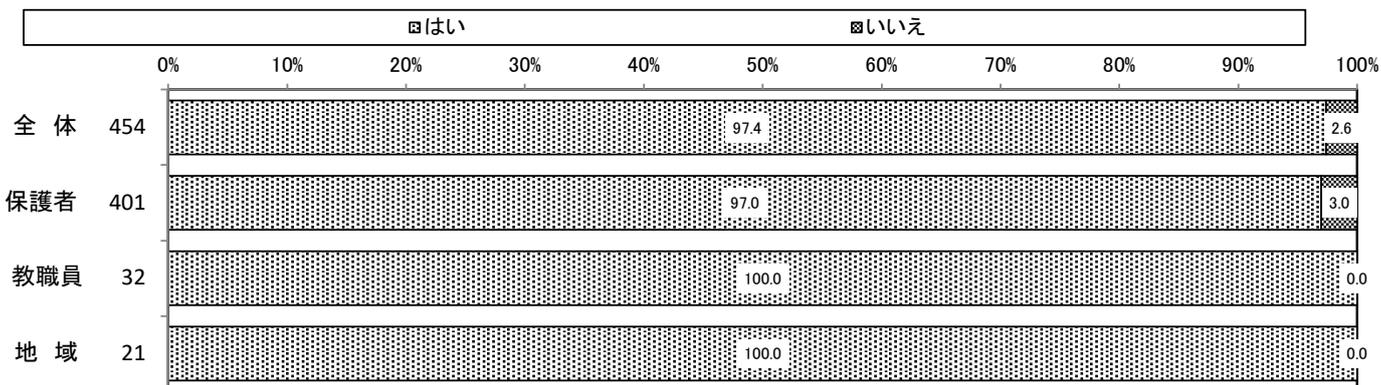
(昨年度：児童 92.2% 保護者等(設問 24)82.8% (設問 25)76.6%)

キャリア教育は、新学習指導要領で提唱する「社会に開かれた教育課程」を具現化する学習です。天沼小では学習すべき大切な教育活動と捉えて、学年に応じた内容で取り組んでいます。2年生は「まち探検」、3年生は教会通り商店街での「お店番体験」、4年生は「地域安全マップ作り」「福祉・ユニバーサルデザイン学習」、5年生は起業家体験プログラム「天沼会社経営プロジェクト(AKP)」、6年生は地域の人たちと交流を行う「私たちの天沼」「裁判傍聴」などに取り組んでいます。児童からも一定の評価が得られていることから、今後も天沼小の特色として継続していきます。

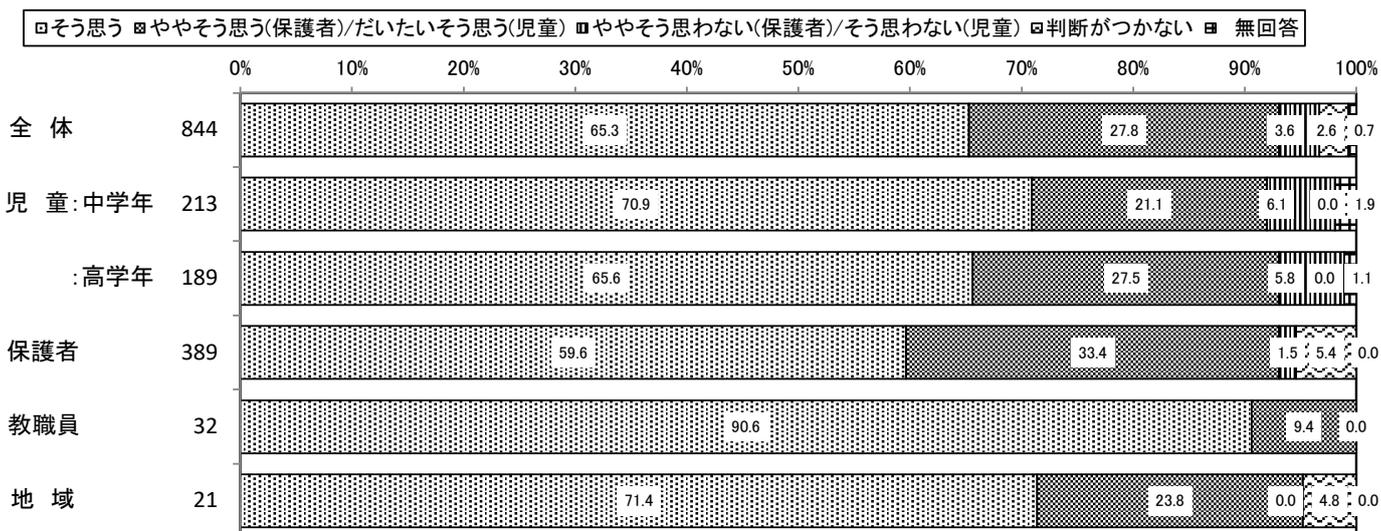
次年度に  
向けて

⑭ 「ほんもの」に触れる多様な日本の伝統・文化理解教育の実施

設問 26 **保護者・教職員・地域** ゲストティーチャーを招いた「ほんもの」に触れる活動が行われていることを知っている。例えば、「紙すき」、「伝承遊び」、「折り紙」、「茶道」、「書道」、「華道」、「伝統工芸」、「藍染」、「和太鼓」、「和菓子作り」、「百人一首」等



設問 27 **3・4年生** 百人一首・書道・華道・茶道・箏の体験を通して、日本の伝統・文化にふれることを楽しみにしています。  
**5・6年生** 百人一首、茶道、書道体験などを通し、日本の伝統・文化のよさに気づきました。  
**保護者・教職員・地域** 設問 26 の活動によって、日本の伝統・文化への理解、郷土に対する愛着心や多様な文化への理解が深まっている。



【肯定回答率 児童 92.5% 保護者等 93.7%】

(昨年度：児童 94.9% 保護者等(設問 26)88.9% (設問 27)83.8%)

次年度に向けて

地域の専門家をゲストティーチャーとしてお迎えしながら実施し、予定通りの活動を行うことができました。子どもたちの肯定率の高さから、理解を示されている取組と言えます。今後も、日本の伝統・文化に親しみ、日本の良さや多様な文化を理解できる子どもたちを育てるため、学校支援本部と協働しながら取組を進めていきます。

知ってましたか？

天沼小の「特色ある教育活動」について

天沼小学校では学校運営協議会と協議し、以下を「特色ある教育活動」に位置づけています。



人が生きていく上で必要な「人間力」と「文化力」を育てる教育を「不易」の教育活動と捉え、学校支援本部のコーディネートのもと、毎年様々な地域の方にご協力いただきながら活動に取り組んでいます。

#### ①日本の伝統・文化理解教育

本物に触れる体験として、茶道・華道・書道・染物・百人一首・折り紙・伝承遊び等を行っています。そこには、グローバル社会になっても、日本の伝統文化を大切にしつつ、海外の文化も理解できる心をもって欲しいとの願いが込められています。

#### ②読書活動

本の世界を紡ぎ出す「素話」や「絵本の読み聞かせ」など、物語に触れる体験とともに、読書に親しむ場を作り、「想像力豊かな人間性」をはぐくんで欲しいとの願いが込められています。

学校支援本部読書活動プロジェクトのメンバーは、毎月「絵本の会」という勉強会を行いながら、子どもたちのために活動をしています。

#### ③キャリア教育

地域とかがわりながら、「社会の一員としての自覚」と、自分の役割を果たす「責任感」を養い、前向きに生きていって欲しいとの願いが込められています。以下の連携・協働団体の方々はじめ、多くの方々の協力のもと進めています。

天沼小とともに子どもたちをはぐくんでくださる地域の皆さん



杉並区内の主な連携・協働団体のご紹介です。そのほかにも、多くの地域協力者の方々にお世話になっています。

#### 天沼地区町会

- 天沼一丁目町会
- 天沼二丁目町会
- 天沼二丁目三よし会
- 天沼尚和会
- 天沼三丁目西町会
- 天沼三丁目あかるい町会
- 本天沼西町会

#### 東京青年会議所杉並区委員会

- 教会通り新栄会
- 寿通り商店街
- 荻窪北口商店街
- 白山通り商店街
- 杉並かるた会
- 弁天池公園育て組「荻の会」
- JA 東京杉並グリーンセンター
- 東京都染色共同組合
- NPO 法人みんなのコード
- 株式会社メンバーズ

#### ゆうゆう天沼館

- 杉並区社会福祉協議会
- ケア24
- 荻窪警察署
- 杉並区役所
- 地域の施設(15か所)

\*まちたんけん協力先

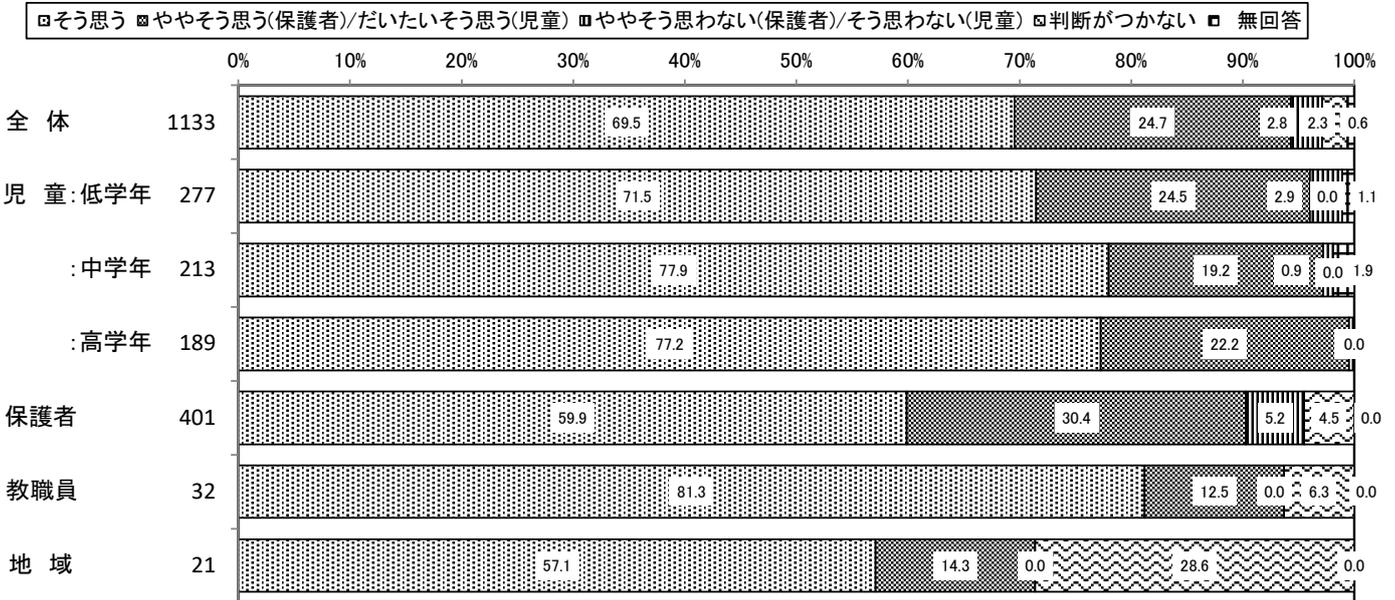
- あまぬまおやじの会
- 天沼小学校同窓会
- 天沼小学校 PTA

など

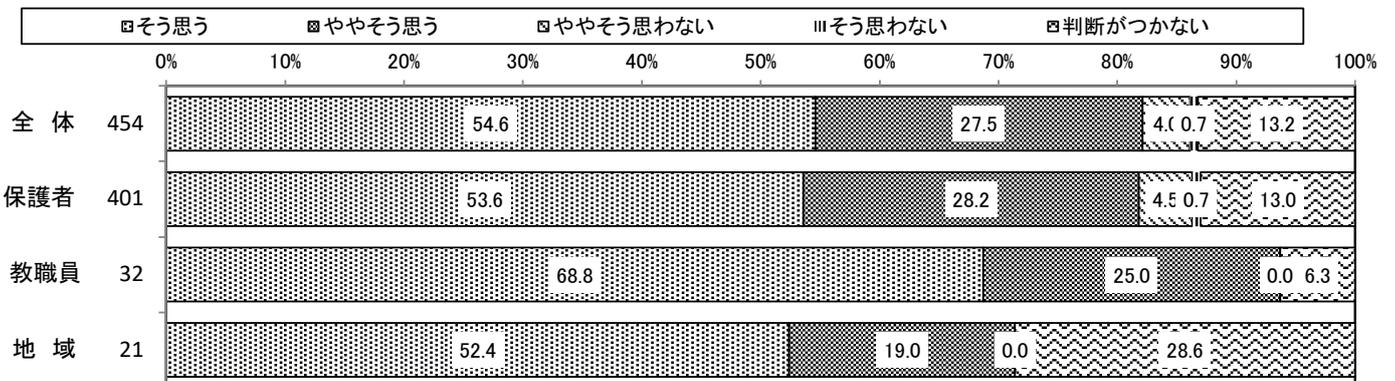
次年度以降またお世話になります！

⑮ ICTインフラを活用した情報教育と、情報モラル教育の実施

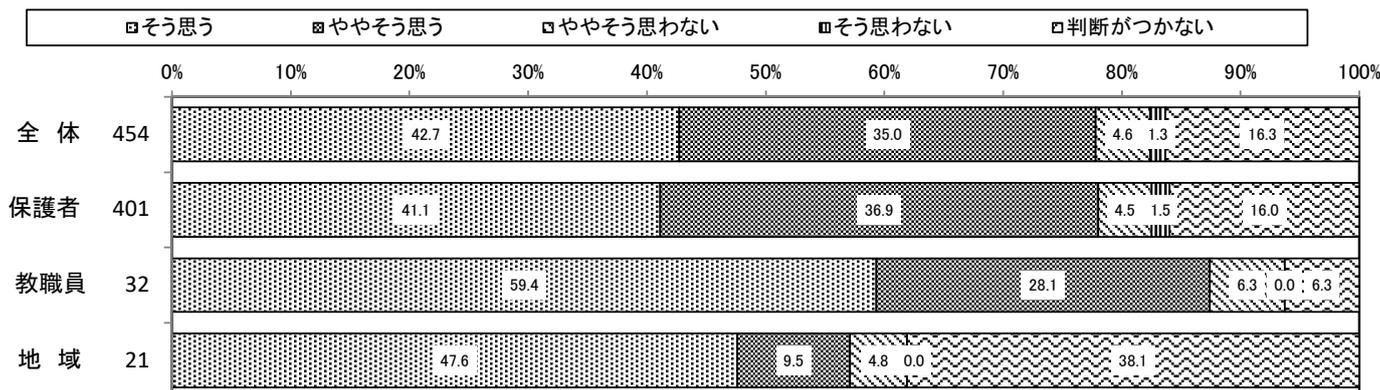
設問 28 1・2年生 授業において、いろいろなことにタブレットを使っています。  
 3・4年生 授業において、いろいろなことにタブレットを使っています。  
 5・6年生 授業に加え、学校生活のさまざまな場面でもタブレットを活用しています。  
 保護者・教職員・地域 デジタル教科書の活用やプログラミング教育の導入等、ICTインフラを積極的に活用した活動が行われている。



設問 29 保護者・教職員・地域 電子黒板やタブレットを、授業の中だけにとどまらず、学校生活のさまざまな場面において活用している。例えば、委員会活動、家庭での活用(3年生以上)



設問 30 保護者・教職員・地域 ICT 機器を扱うに当たって、利点だけでなくマナーや危険性も理解させる活動が行われている。



**【肯定回答率 児童 97.3% 保護者等(設問 28)89.6% (設問 29)82.2% (設問 30)77.8%】**

(昨年度：児童 96.3% 保護者等(設問 28)89.8% (設問 29)77.6%)

天沼小では、他校に先駆けて最先端の ICT 環境を導入し学習活動に取り入れてきました。各教科における授業での活用だけでなく、学校行事や委員会活動など、子どもたちはさまざまな場面で日常的にタブレットを活用しています。

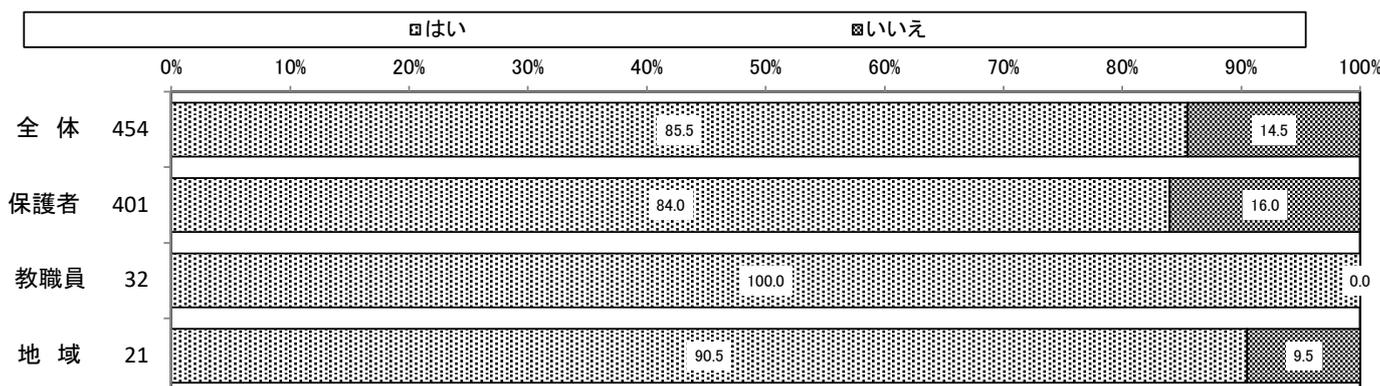
GIGA スクール構想により、全国の学校でほぼ同様の環境が整ってきましたが、天沼小の子どもたちには、これまでに獲得した ICT スキルがあり、タブレットを活用した意見交換や、プレゼンテーション等に活用しています。また、5～6年生に導入した国語の児童用デジタル教科書をととても有効に使用しています。

今後も児童用デジタル教科書や AI ドリルの導入・活用など、さらに ICT 機器の活用を進めていきます。

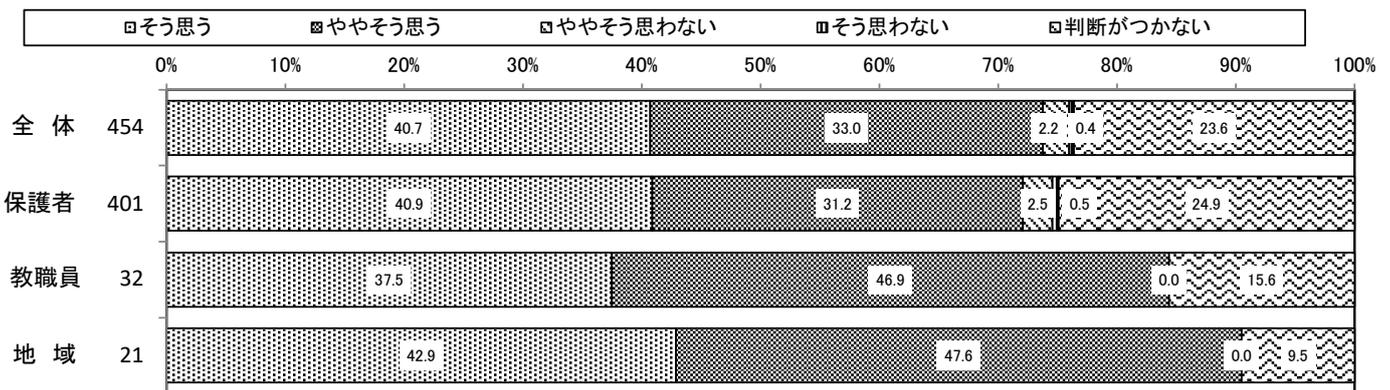
次年度に向けて

⑯天沼中学校区における小中連携教育活動（AKA）の取組

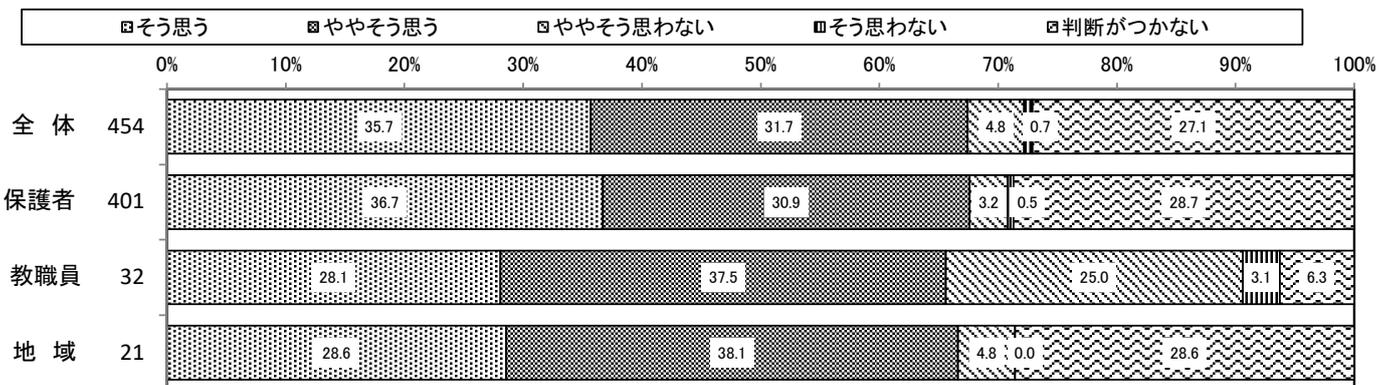
設問 31 保護者・教職員・地域 天沼小の児童が、天沼中学校全学年の生徒、沓掛小児童と交流学习を行っていることを知っている。中学 1 年生と 6 年生との百人一首大会、中学 2 年生による 1 年～4 年生の各教科の授業サポート、中学 3 年生と 5 年生との HUG 訓練(防災ゲーム)等



設問 32 保護者・教職員・地域 6年生で実施する天沼中学校での授業体験、部活動体験等は、中学校生活へのイメージを膨らませるのに役立っている。



設問 33 保護者・教職員・地域 3校の教員は合同教員研修によって、情報交換、ノウハウの共有、ICT・情報モラル教育の連携推進等をしており、こうした活動はよりよい教育活動の実現に役立っている。



【肯定回答率 保護者等(設問 32)73.8% (設問 33)67.4%】

(昨年度：保護者等(設問 32)67.3% (設問 33)62.2%)

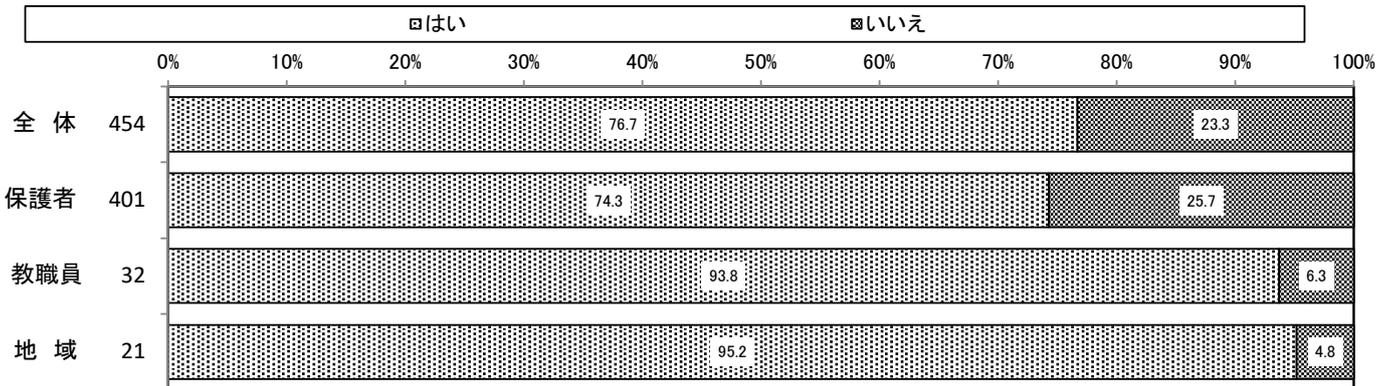
A K A (天沼小・杓掛小・天沼中)は、小中一貫教育に向けて、合同で研修・交流し、情報交換を行うことで、小学校と中学校の円滑な接続を図ることを目的としています。

令和4年度は、3校合同CS会議の開催、交流授業、各校での授業見学と4回の合同研修会を実施できました。また、A K Aの日(1月14日)には、中学2年生が天沼小にきて各学年のサポートを行い、中学3年生は5年生と共に震災時を想定したHUG訓練を行いました。6年生は天沼中に行き、中学1年生と百人一首合同大会を行い、その後「小中未来サミット」を実施しました。来年度も引き続き、3校の教員や学校運営協議会が交流し、情報交換と研修を行っていきます。

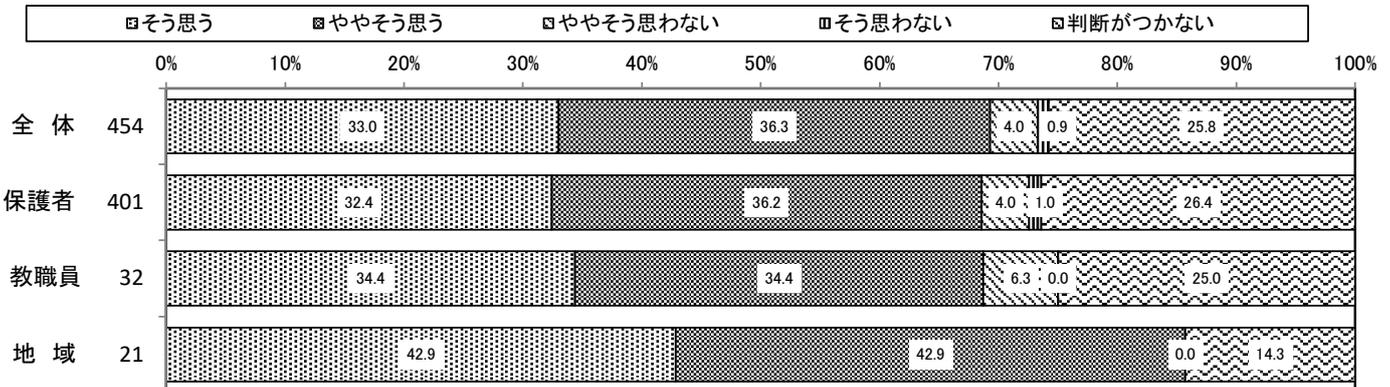
次年度に  
向けて

⑰近隣の幼稚園・保育園と連携した「わくわく交流プロジェクト」の取組

設問 34 保護者・教職員・地域 近隣の幼・保育園児との交流活動が行われていることを知っている。



設問 35 保護者・教職員・地域 設問 34 の活動は、幼児にとっては「小1プロブレム」の解消、児童にとっては自己有用感や責任感などを育むのに役立っている。



【肯定回答率 保護者等 69.4%】

(昨年度：保護者等 69.9%)

次年度に向けて

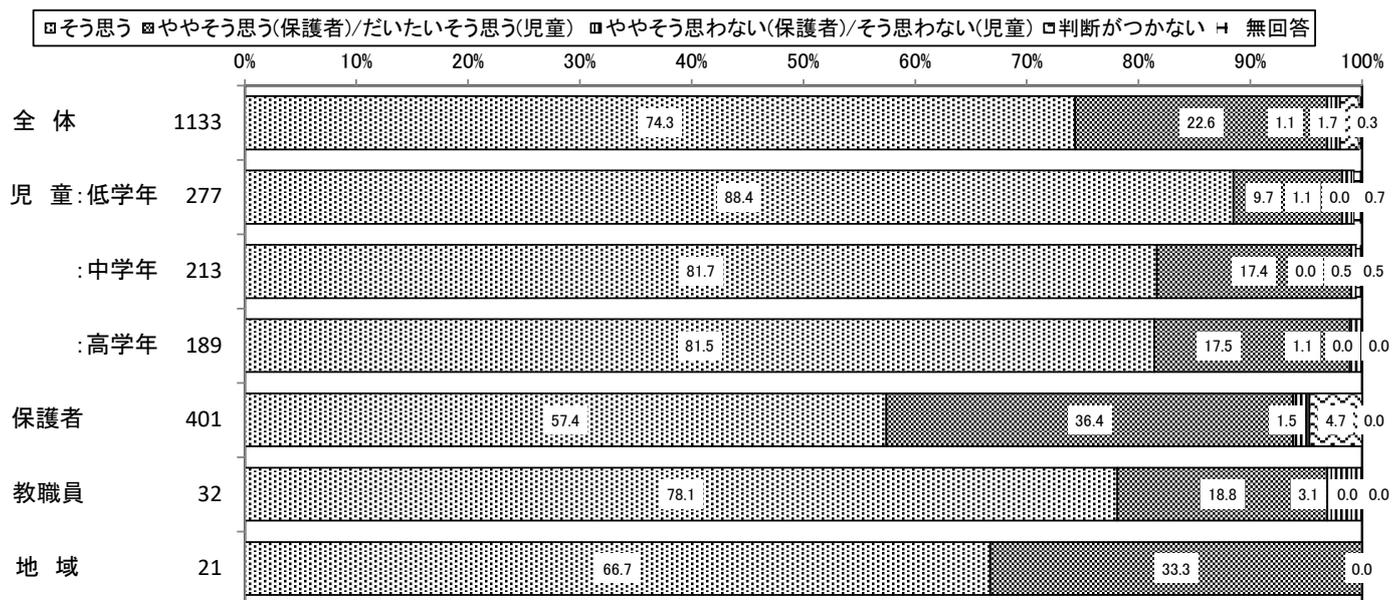
今年度は、体育発表会の練習を幼稚園・保育園の園児たちが見学にきたり、3年生児童が自ら育てた花を複数の保育園に届ける取り組みを行ったりしました。

また、小学校への親しみを持ってもらえるよう、幼稚園児・保育園時を招いて、3年生が国語の学習で「私たちの学校自慢」を行いました。

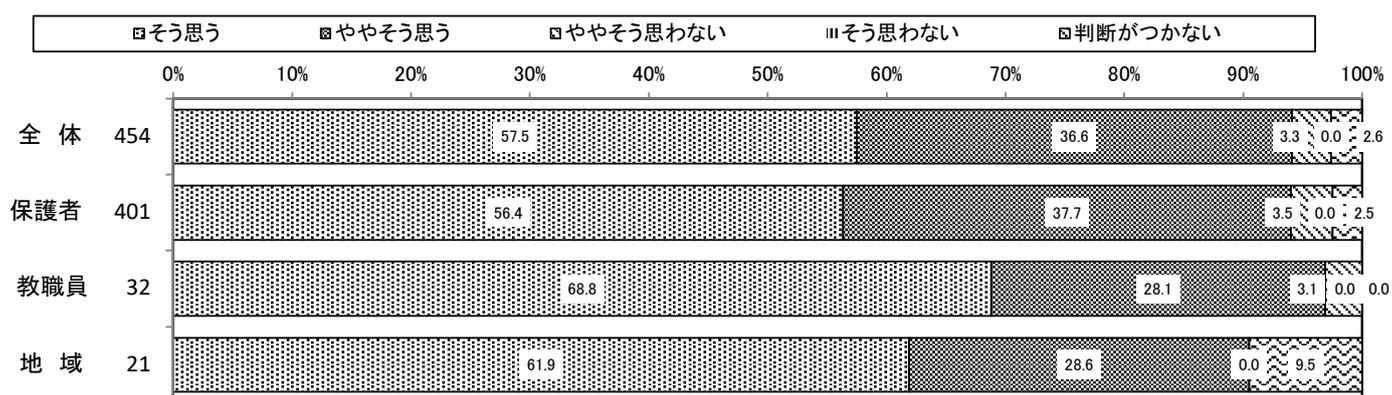
## 5 安定した学校運営の実現

### ⑱学校施設の安全、防犯、防災への取組

設問 36 1・2年生 ひなんくんれんでは、自分を守る方法を教わっています。  
 3・4年生 避難訓練などで、災害の時は自分の身を守る方法を学んでいます。  
 5・6年生 避難訓練などで災害の時に自分の身を守る方法を学んでいます。  
 保護者・教職員・地域 学校施設の安全・防犯・防災設備や仕組みを導入することで、安全の確保に向けた取組が行われている。



設問 37 保護者・教職員・地域 多様な取組によって、児童が自分で身を守るための能力が育てられている。例えば、月一回の避難訓練、引き取り訓練、地域を含めた訓練、セーフティ教室や防災教育等



【肯定回答率 児童 98.7% 保護者等(設問 36)94.3% (設問 37)94.1%】

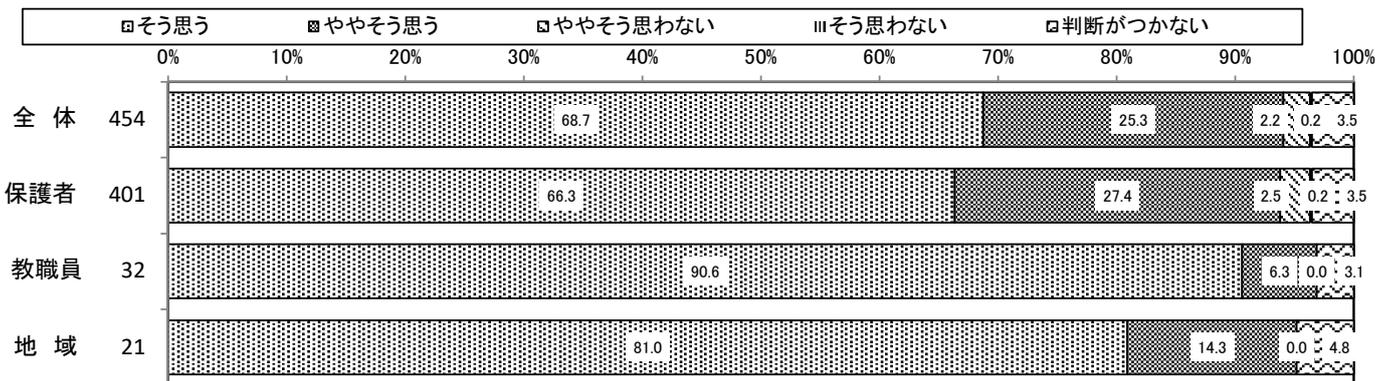
(昨年度：児童 98.8% 保護者等(設問 36)92.8% (設問 37)94.1%)

次年度に  
向けて

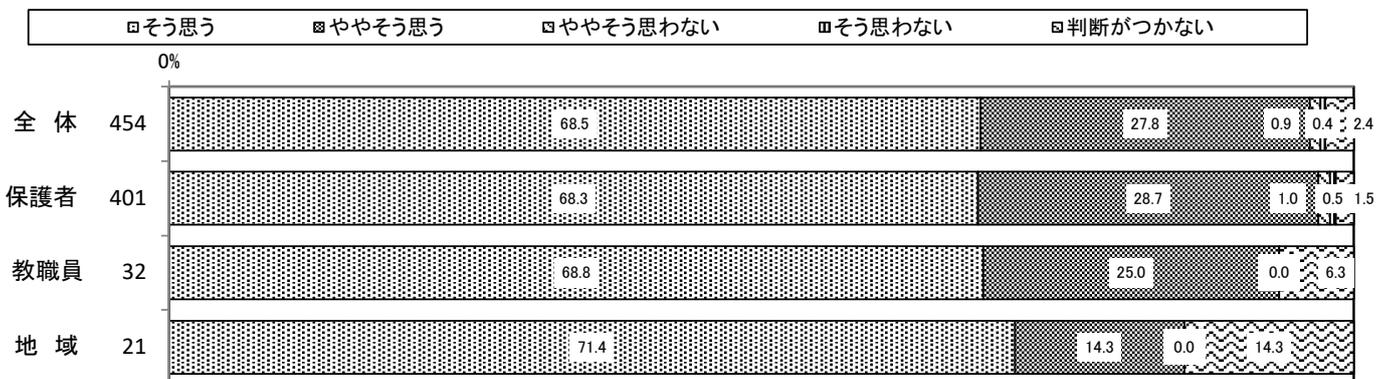
災害時への備えについて、様々な場面を想定した避難訓練を実施しています。また、天沼中への二次避難訓練を実施しました。今後も階段の通行ルール(右側通行、駆け上がらない、駆け下りない等)を徹底していきます。引き取り訓練はいざという時のために必要な危機管理の取組です。保護者の皆様も積極的に、かつ整然とご参加をお願いいたします。

⑨迅速かつ的確な情報の公開・提供

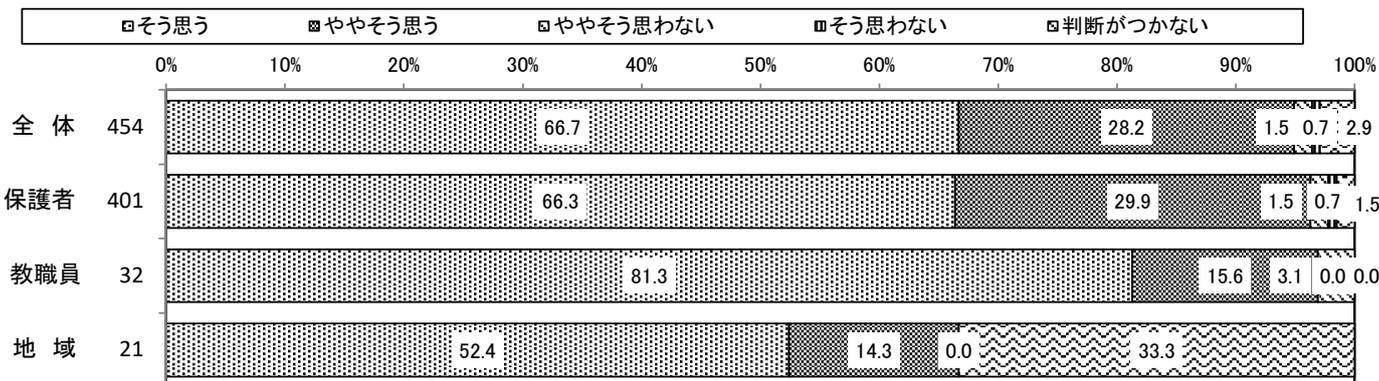
設問 38 **保護者・教職員・地域** 学校を取り巻くさまざまな情報が学校ホームページや「校長室だより」で提供されている。



設問 39 **保護者・教職員・地域** 学校を取り巻くさまざまな情報が、配布されるお手紙で提供されている。例えば、あまぬまだより、学年だより、給食だより、図書だより、保健だより、カウンセラー通信等



設問 40 **保護者・教職員・地域** 緊急メール配信システムの活用などを通して、迅速かつ的確な情報の提供・共有が図られている。



次年度に向けて

【肯定回答率 保護者等(設問 38)94.1% (設問 39)96.3% (設問 40)94.9%】

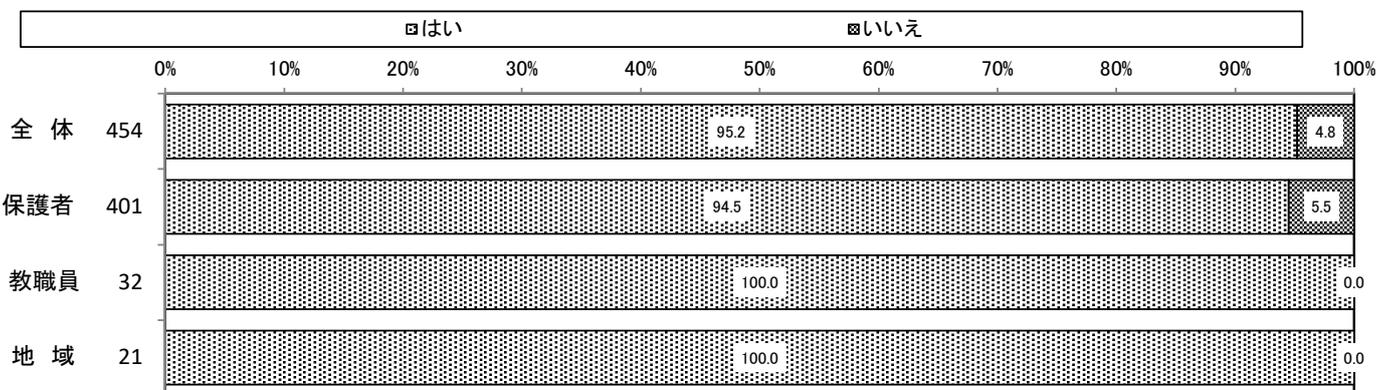
(昨年度：保護者等(設問 38)93.0% (設問 39)93.3% (設問 40)93.6%)

授業を見てもらう機会が多くない中で、ホームページにほぼ毎日更新されている「校長室だより」での配信が学校の様子を知っていただく一番の機会となっています。

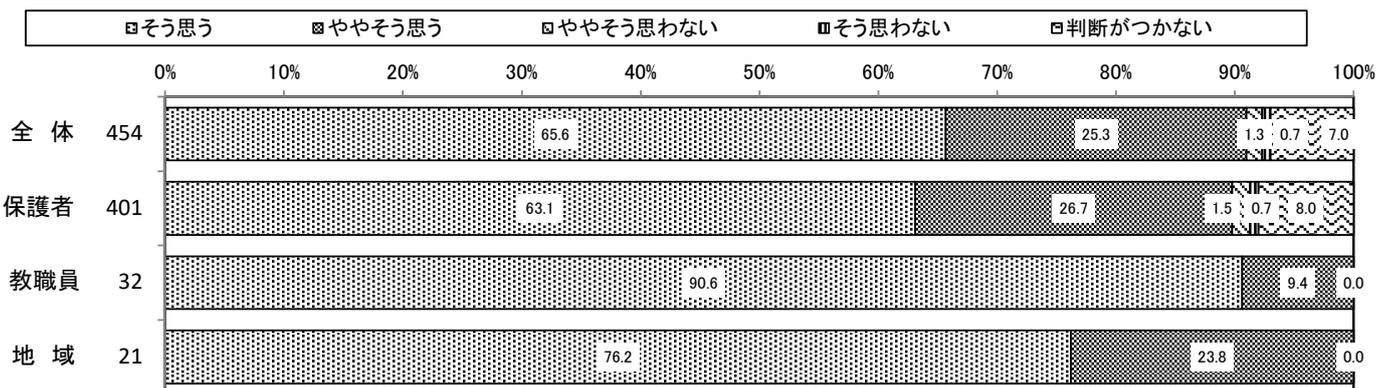
3学期より、学年だより、ほけんだより、学年毎の連絡が「まなびポケット」を通じて行うことになりました。これにより、紙面の削減とともに、皆さんが学校からの情報に触れやすい環境の整備を進めることができました。今後も皆さんにとって利便性の高い情報提供の方法を検討していきます。

⑳ 学校支援本部(あまぬまワンダラズ)との連携による「かかわりとのつながり」を重視した地域学校協働活動の実施

設問 41 保護者・教職員・地域 天沼小では、学校支援本部(あまぬまワンダラズ)が、ゲストティーチャーやサポーターのコーディネートをはじめ、遠足等の引率、学習補助、土曜日学校や放課後子ども教室の運営を担っていることを知っている。



設問 42 保護者・教職員・地域 学校支援本部(あまぬまワンダラズ)との協働によって、地域の力を生かしたさまざまな教育活動が行われていることが、天沼小の特徴的な教育活動となっている。



次年度に向けて

【肯定回答率 保護者等 91.0%】(昨年度：90.4%)

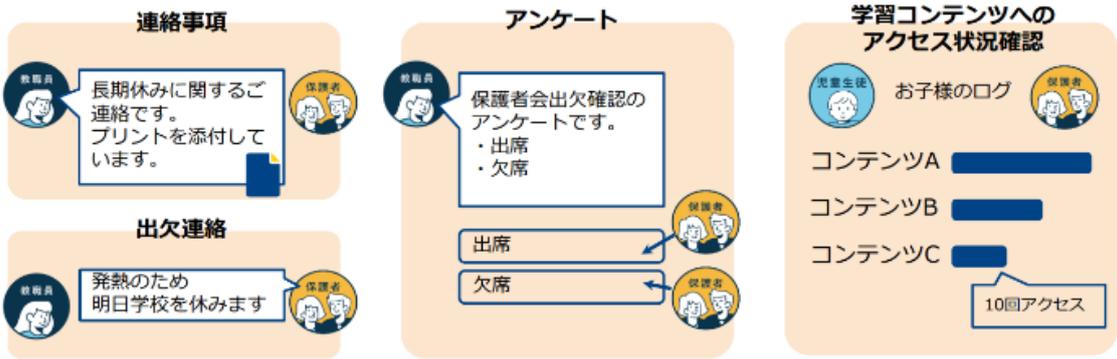
天沼小学校の教育活動において、学校支援本部の存在が欠かせないものとなっていることを改めて感じる結果となりました。

「地域」と「学校」とをつなぐ組織である「学校支援本部」(あまぬまワンダラズ)によって地域連携を実現させています。例えば、校外学習などの学校行事の引率補助や、学習補助、茶道や書道などの専門家のコーディネートなどが学校支援本部を通じて行われています。このように、天沼小では各学習や行事に地域の方々の助力をいただいております、教職員と地域とが一緒になって、レベルの高い学習を実現しています。



ちょっとおさらい！  
『まなびポケット』について

ペーパーレス化の流れに乗り、『まなびポケット』が今年1月から導入されました！！  
保護者の方は、まなびポケットを通じて学校からのお手紙などの連絡事項を受け取ったり、アンケートに回答できたりします。「出欠連絡」では、担任の先生に欠席や遅刻、早退などを送ることもできます。そして、お子様の学習コンテンツのアクセス状況が確認可能です。  
今までは連絡帳や電話など、手間も時間も掛かっていたものをいつでもどこでも大切な連絡を確認できたり、学校へ連絡できたり大変便利になりました。

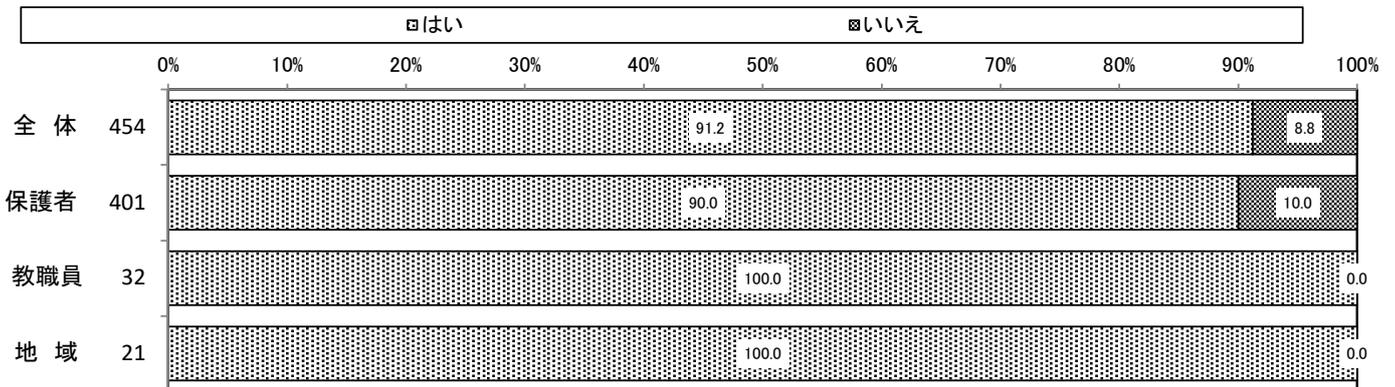


ちょっとおさらい！  
あまぬままつりについて ~高学年の一步進んだ実践~

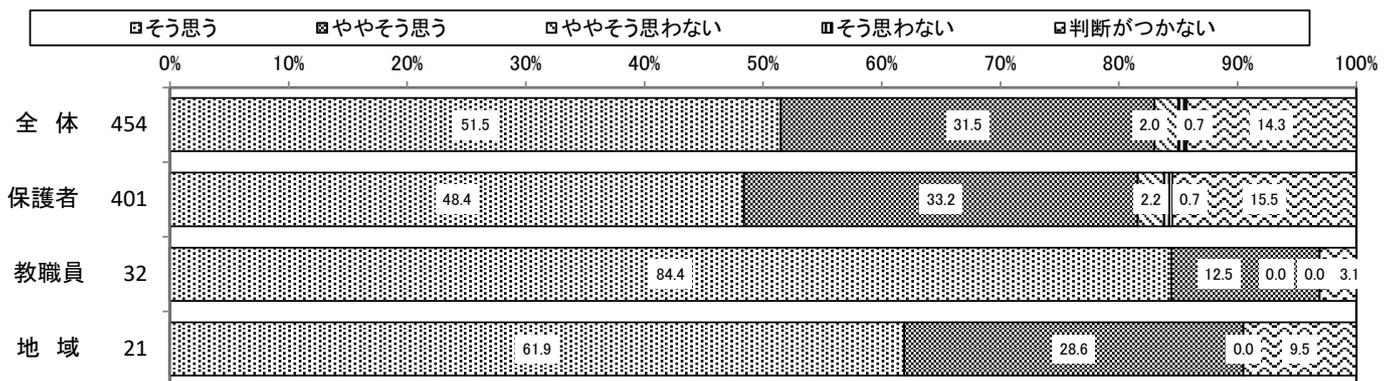
あまぬままつりは、各学級が何の「お店」にするかを考えて出店し、お店番をしたり、他の「お店」のお客になって訪問したりする活動として長年実施していました。しかし昨年度から、5、6年生は自らの出店ではなく、全体の企画や運営をする側に回っています。  
天沼小ではキャリア教育として体系的な取組を行う中で、5年生になると会社づくりも行い、高学年としてはすでに総合的にプロデュースする力の基盤が養われており、それを実践することでより力をつけることを目的として実施したものです。  
そして、4年生は「お店」づくりの最高学年として、近づく高学年への意識を高めつつ活躍します。子どもたちは期待通りの力を発揮して、まつりを成功へ導いています。

② 「コミュニティ・スクール（地域運営学校）」としての学校運営

設問 43 **保護者・教職員・地域** 天沼小が地域住民・保護者・学識経験者等の意見から成る「学校運営協議会」で学校運営を共に考え、協働している「地域運営学校＝コミュニティ・スクール（CS）」であることを知っている。



設問 44 **保護者・教職員・地域** 天沼小では、「学校評価アンケート」で寄せられた評価・ご意見を生かし、「地域とともにある学校」としての取組を進めている。



**次年度に向けて**

**【肯定回答率 保護者等 83.0%】**（昨年度：79.9%）

天沼小では、様々な意見を学校運営に反映させるために、地域・保護者の代表や学識経験者などで構成された学校運営協議会が設置されており、校長先生とともに学校運営協議会が中心となって、子どもたちが質の高い教育を受けられるよう様々な検討を行っています。このような学校を地域運営学校「コミュニティ・スクール」と言っています。

今回のアンケートでいただいた声を次年度の教育課程に反映させていきます。地域の方々の連携をさらに深めて、子どもたちがさらにレベルの高い教育を受けることができるよう取り組んでまいります。地域・保護者の皆様に、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。

## 「今年度の目標」アンケート結果について

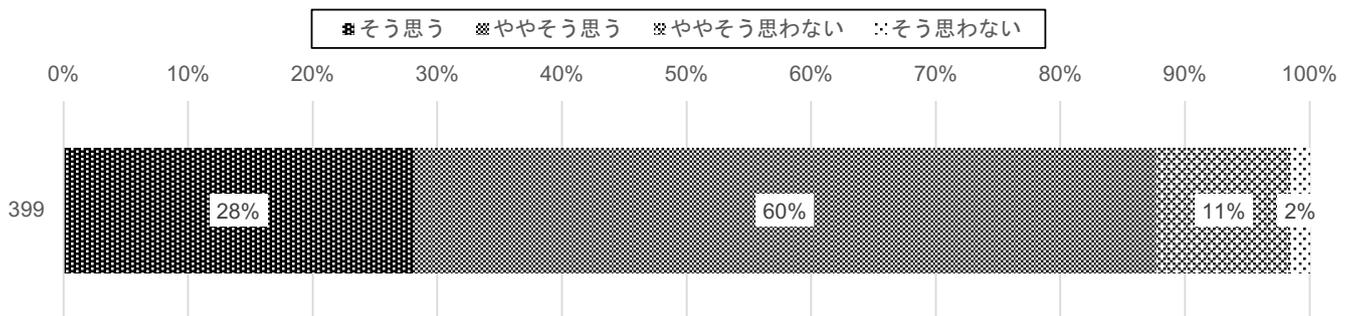


「天沼小学校がめざす教育」（5月発行）において、学校運営協議会から皆様へ以下の目標を提案させていただきます。

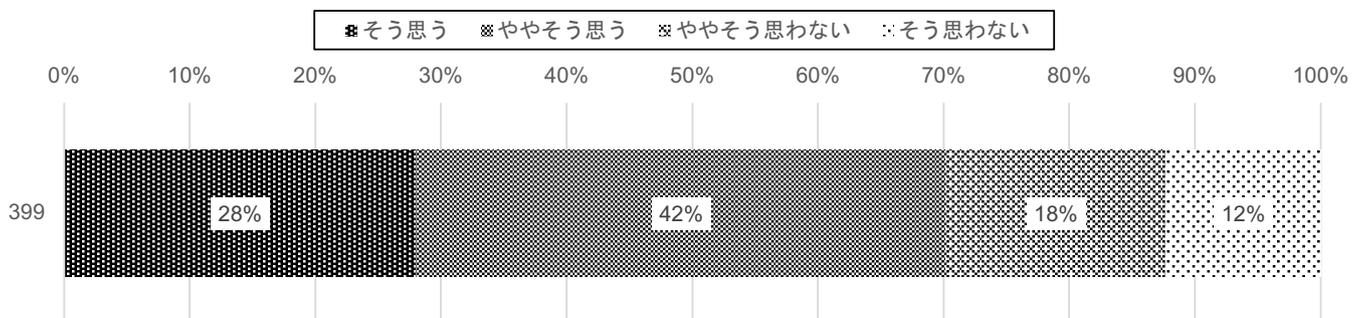
低学年「あいさつをしっかりしよう！」  
 中学年「相手のことを思いやろう！」  
 高学年「社会のできごとについて話し合おう！」

年間を通して保護者・地域の皆様にもご協力いただき、その結果は以下の通りになりました。これからもみんなで取り組んでいきましょう。

この1年間を通して、お子さんは今年度の目標を達成できていたと思いますか？



この1年間を通して、お子さんに対して今年度の目標を達成しようと働きかけましたか？



この1年間を通して、ご自身が積極的に今年度の目標を達成しようと意識できましたか？

